

流域及び河川の概要

平成23年3月23日

兵庫県

目 次

1. 対象河川と流域
2. 流域の自然環境
3. 流域の社会環境
4. 河川の概要
 - 4.1 災害の概要
 - 4.2 河川の現状
 - 4.3 下水道の現状
 - 4.4 内水面漁業の現状
 - 4.5 河川の水質
 - 4.6 河川の生物
5. 地域の取り組み

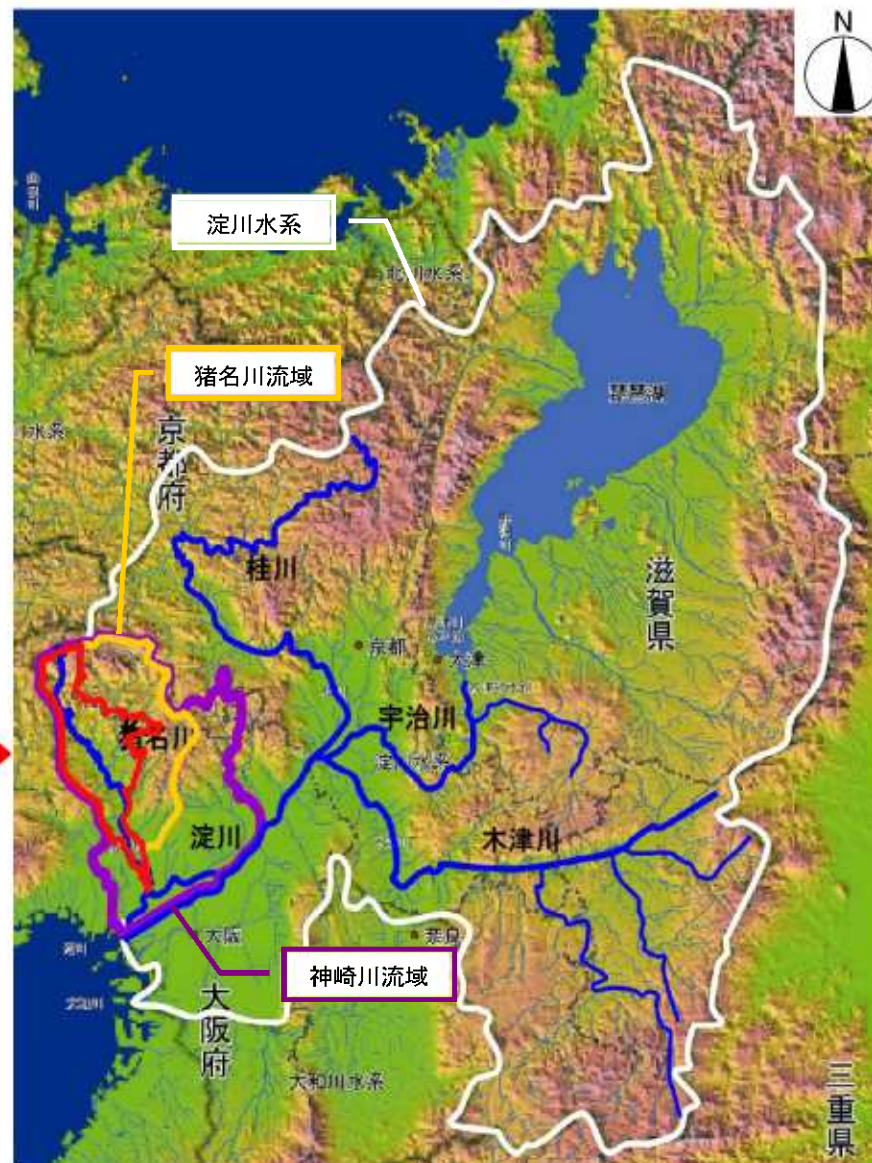
1. 対象河川と流域

対象河川と流域(淀川水系での位置)

- ・淀川水系は、流域面積 8,240km²、流域内人口1,179万人※であり、三重、滋賀、京都、大阪、兵庫、奈良の2府4県にまたがっている。

※平成17年国勢調査にもとづく

- ・猪名川圏域は淀川水系の下流部に位置している。



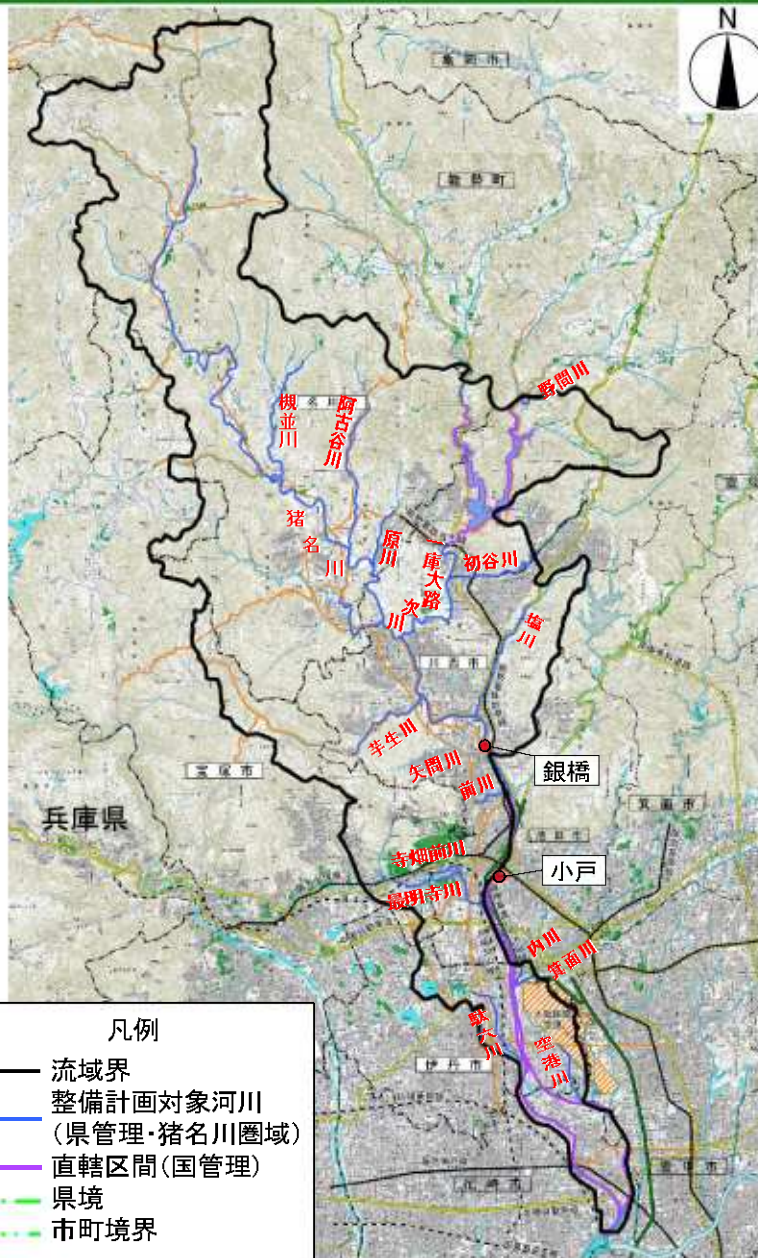
(背景図は国土交通省資料より引用)

対象河川と流域(神崎川流域での位置)

- ・神崎川流域は、流域面積591.1km²、流域内人口173.5万人※である。
- ・猪名川は、神崎川の一次支川で、流域面積は、383km²、流域内人口は約65万人※である。
※平成17年国勢調査にもとづく
- ・猪名川圏域は、猪名川流域の西部に位置している。



対象河川と流域

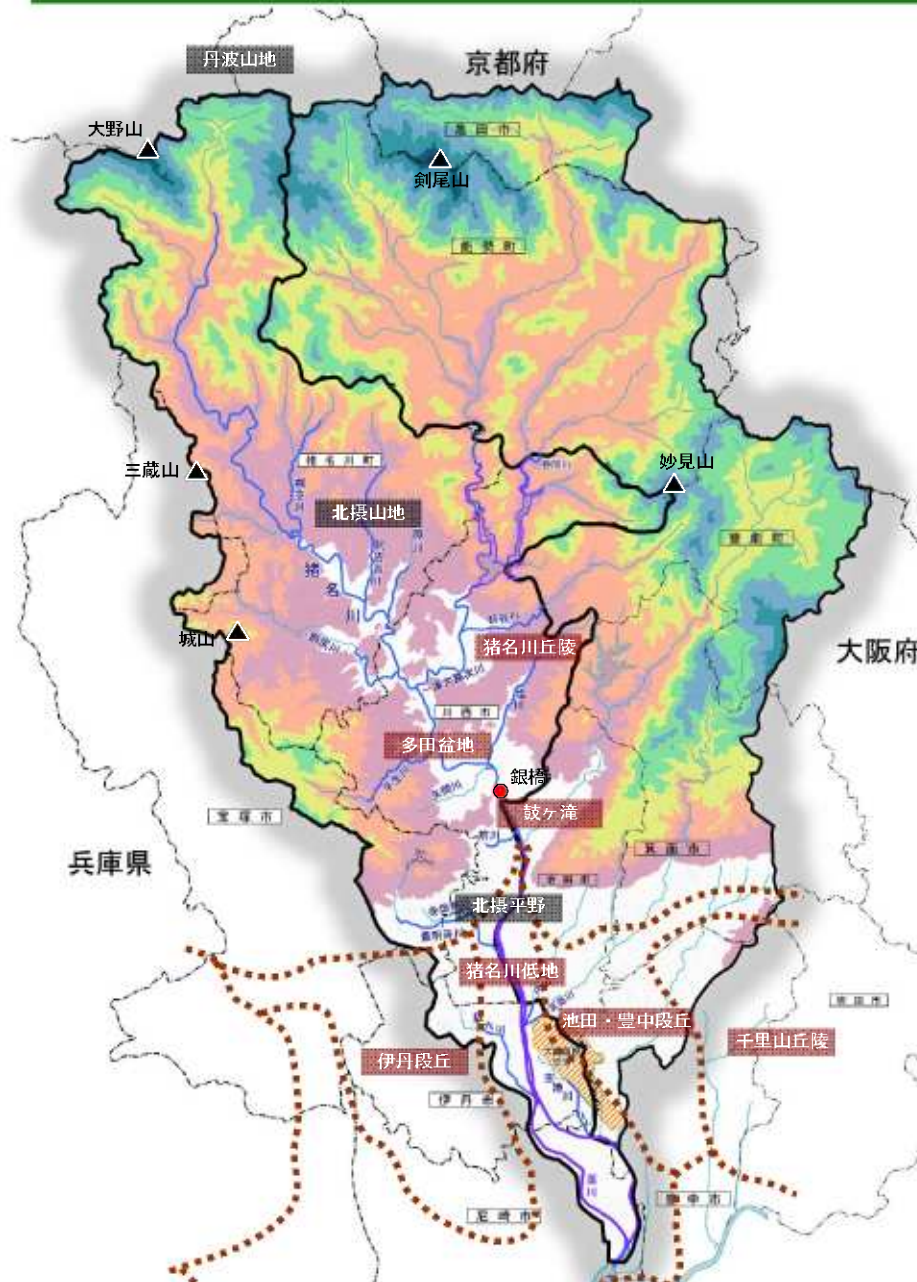


- ・ 猪名川圏域の河川は、猪名川、槻並川、阿古谷川、原川、野尻川、一庫大路次川、野間川、初谷川、芋生川、矢間川、塩川、前川、最明寺川、寺畑前川、内川、箕面川、駄六川、空港川の18河川からなる。
- ・ 圏域は伊丹市、宝塚市、川西市、猪名川町(川辺郡) 3市1町にまたがっており、その面積は176km²である。

河川名	河川延長(m)	河川名	河川延長(m)
いながわ猪名川	24,555	やとうがわ矢間川	300
つくなみがわ槻並川	4,080	しおかわ塩川	2,530
あこたにかわ阿古谷川	4,650	まえかわ前川	1,300
はらかわ原川	1,600	さいみょうじかわ最明寺川	2,686
のじりかわ野尻川	1,800	てらほたまえかわ寺畑前川	1,130
ひとくらおおるじがわ一庫大路次川	2,686	うちかわ内川	475
のまがわ野間川	500	みのおがわ箕面川	1,091
はつたにかわ初谷川	2,920	だろくがわ駄六川	3,300
いもおがわ芋生川	3,000	くこうがわ空港川	1,760

2. 流域の自然環境

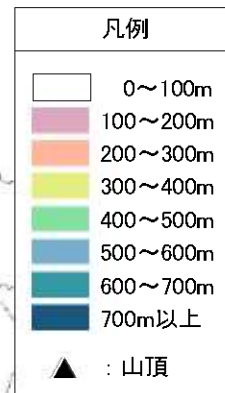
地形



・流域の地形は大きく丹波・北摂山地と北摂平野の2つに区分され。その境界は箕面断層による崖線と、鼓ヶ滝の狭窄部である。

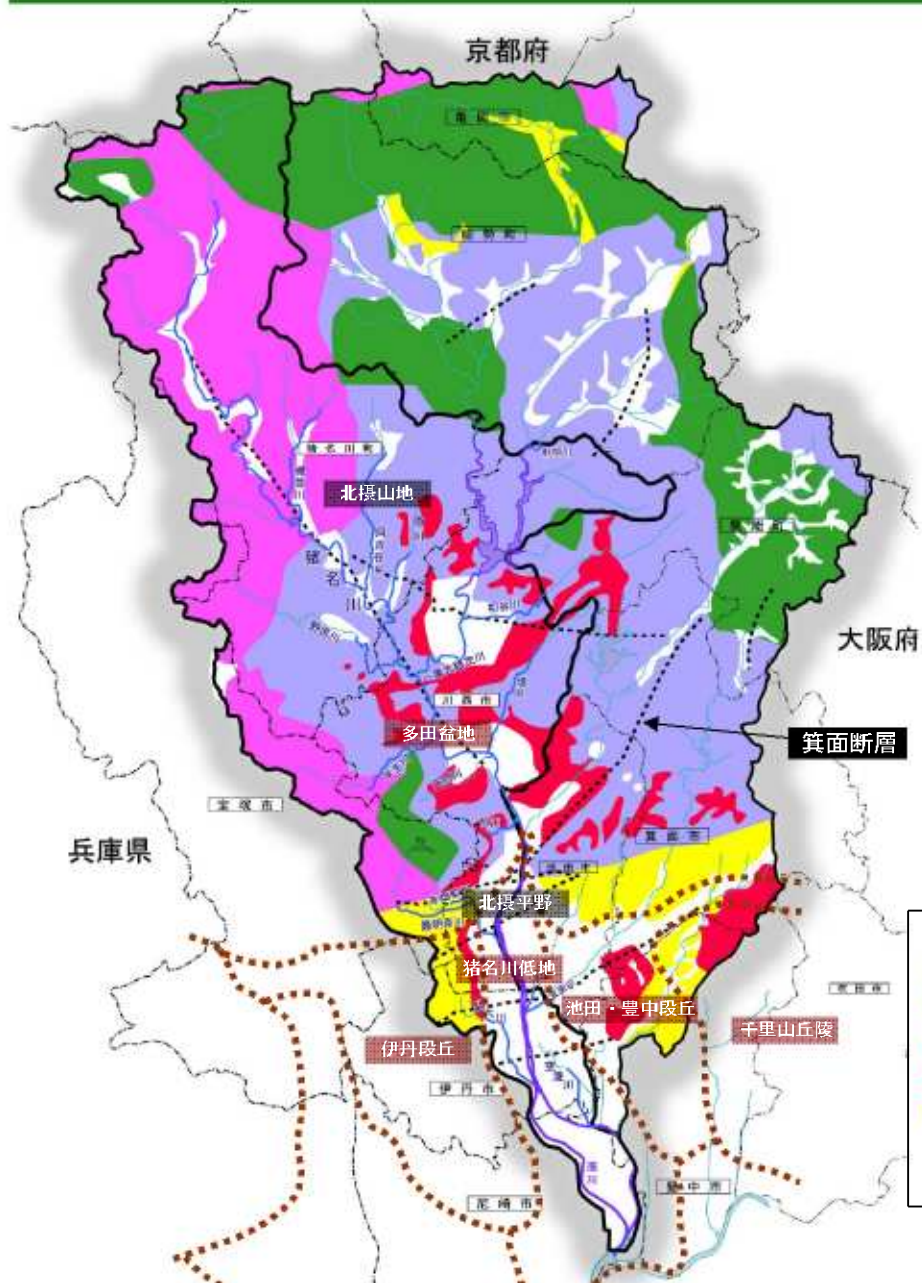
・山地部は、丹波・北摂山地、猪名川丘陵、多田盆地、窪地、谷底低地に分けられる。山相は全体に穏やかである。

・平地部は、池田・豊中段丘、伊丹段丘、猪名川低地に分けられる。猪名川周辺には約40km²の氾濫原が広がり、その周辺に扇状地が形成されている。



データ出典: 国土地理院 数値地図50mメッシュ(標高)、H12.6発行

地質②



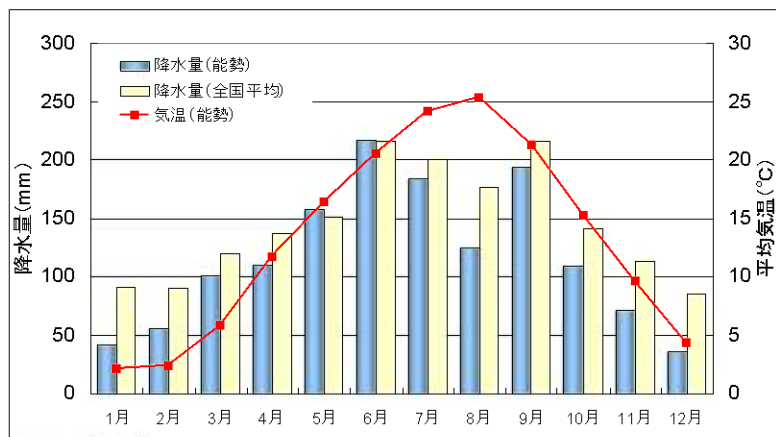
- ・流域の地質は、古生層(丹波層群)・酸性火砕岩(有馬層群)・花崗岩類・大阪層群・段丘層(段丘礫層)・沖積層の6つからなっている。
- ・西部の流域界を縁どって、酸性火砕岩が分布し、北～東部の流域界を縁どって花崗岩類が分布している。
- ・古生層は中央部に拡がり、猪名川の流路沿いと千里山丘陵には大阪層群が分布している。
- ・段丘層は北摂平野における池田豊中段丘、伊丹段丘を構成しており、猪名川低地、多田盆地、窪地には沖積層が分布している。

凡例	
■ (Purple)	丹波層群(古生層)
■ (Pink)	酸性火砕岩(有馬層群)
■ (Green)	花崗岩類
■ (Red)	大阪層群
■ (Yellow)	段丘礫層(段丘層)
□ (White)	沖積層
⋯⋯ (Dotted line)	断層

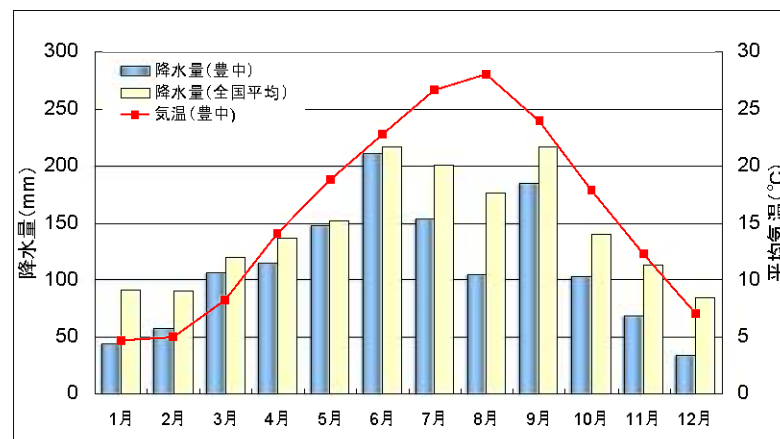
出典:国土交通省猪名川河川事務所HP、一部加筆

気候

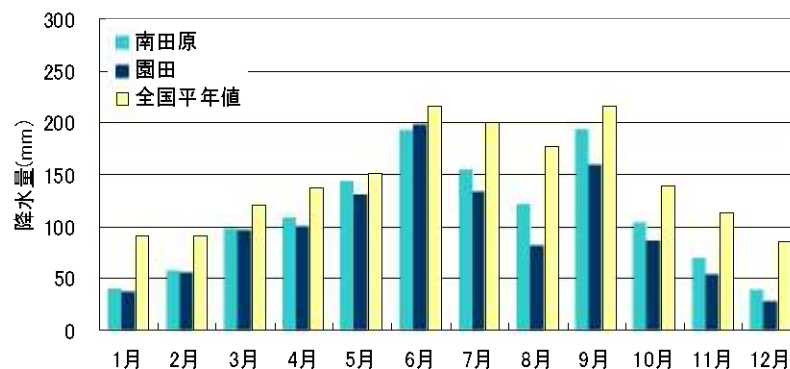
- ・瀬戸内海性気候に属し、晴天が多く、気温は温暖である。
- ・平野部(豊中)の年降水量は約1,300mmと全国平均約1,700mmよりも少なく、平均気温は15.8℃と全国平均13.7℃よりも温暖である。
- ・山地部(能勢)の年降水量は約1,400mmと全国平均よりも少なく、平均気温は13.2℃と全国平均並である。



月平均気温、月平均降水量
能勢【1979～2000年】



月平均気温、月平均降水量
豊中【1979～2000年】



月平均降水量
南田原、園田【1979～2000年】

植生



- ・猪名川流域には、ススキ、ヨシクラスなどの草木性の植物より構成される群落、アカマツ、コナラ、などの大木より形成される群落など様々な群落が分布している。
- ・猪名川流域を構成する代表的な群落を抽出すると、尾根部に分布するアカマツ-モチツツジ群落、中腹以下に分布するコナラ群落、スギ-ヒノキ群落などがある。
- ・河川にはヨシクラスなどがある。

凡例		
	コナラ群落	} 落葉果樹園
	アカマツ群落	
	アカマツ-モチツツジ群落	} 水田雑草群落
	ススキ群落	
	スギ・ヒノキ 植林	} コジイ-カナメモチ群落
	スギ・ヒノキ・サワラ 植林	
	畑地雑草群落	} アラカシ群落
	人工草地	
	水田雑草群落	} ヌマガヤオーダー
	ヨシクラス	
	市街地	} 緑の多い住宅地
	緑の多い住宅地	
	工場地帯	} 遊成地
	開放水域	

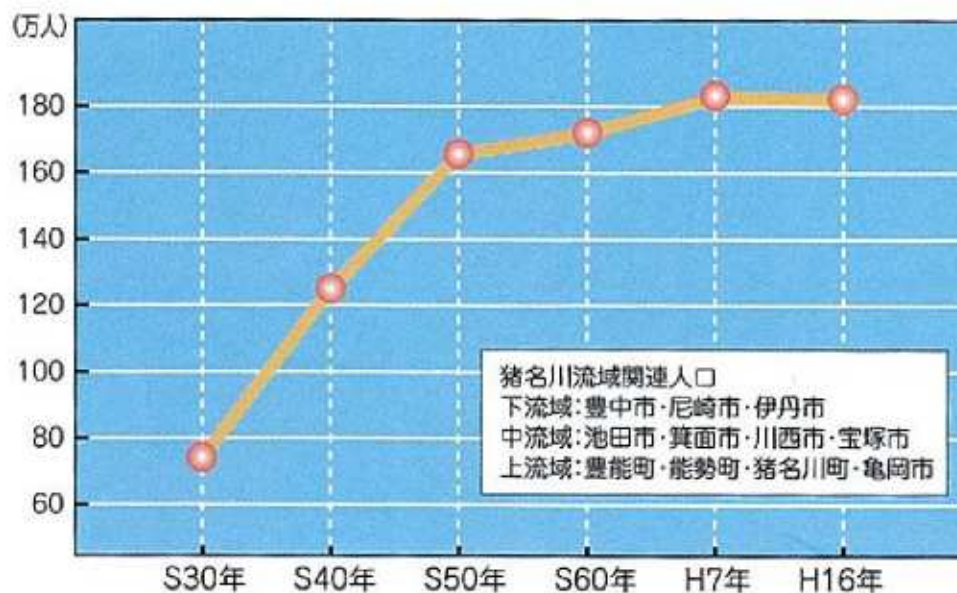
出典:(環境省HP)
 第2回自然環境保全基礎調査 S54年度
 第3回自然環境保全基礎調査 S58~61年度

上位 ← → 下位
 ※植生の群落体系(クラス → オーダー → 群団 → 群集)

3. 流域の社会環境

人口(流域)

- ・昭和30年代から40年代にかけて、猪名川流域では急激に人口が増加し、約2倍となっている。
- ・特に、昭和40年頃からは中流域(宝塚市等)、昭和50年頃からは上流域(猪名川町等)における大規模宅地開発に伴い、流域内人口が増加した。昭和60年以降は概ね安定傾向となっている。



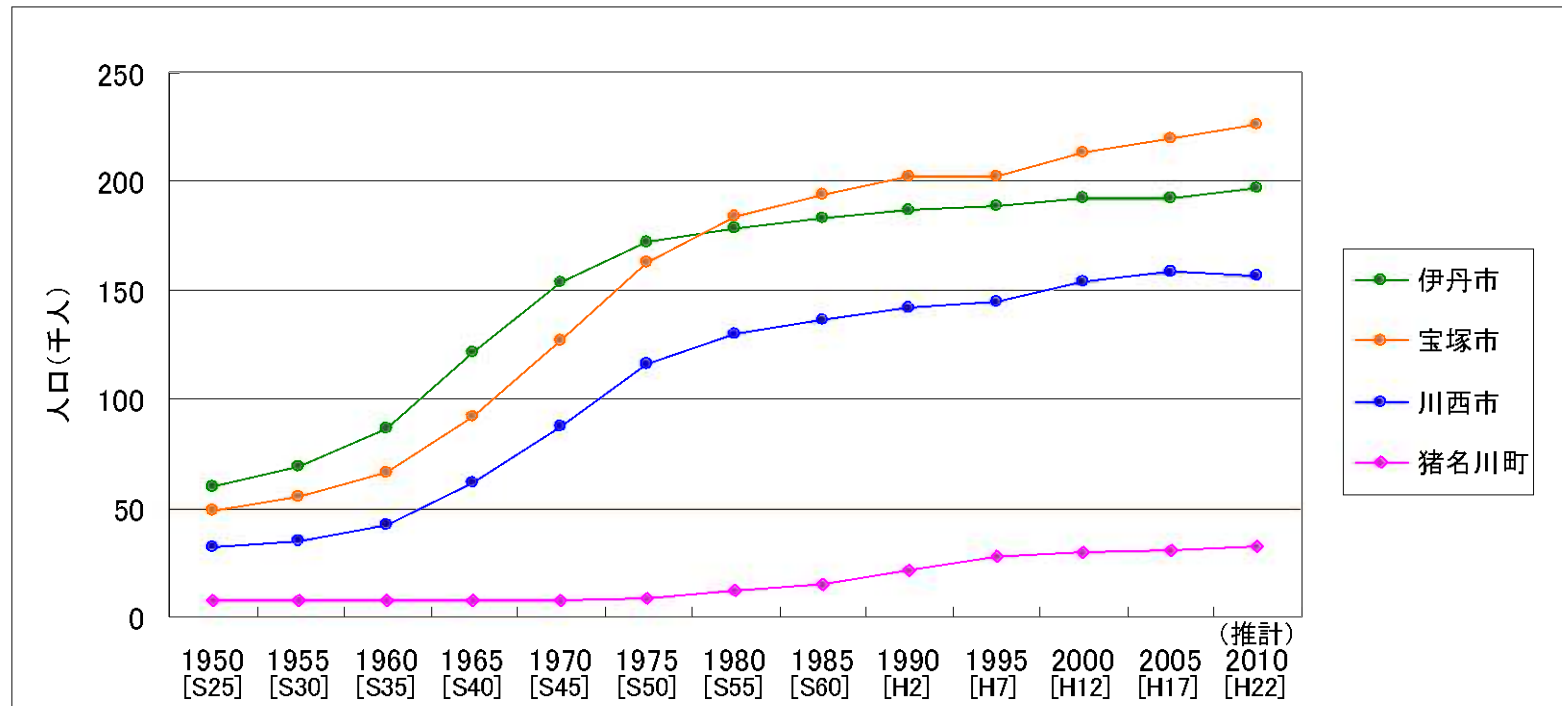
猪名川流域関連人口の推移

出典:「猪名川流域の総合治水対策」パンフレット
猪名川流域総合治水対策協議会

人口(圏域)

- ・伊丹市、川西市、宝塚市、猪名川町では、昭和30～50年代(1955～1975)の都市化の進展に伴い人口が増加し、近年でも漸増傾向にある。

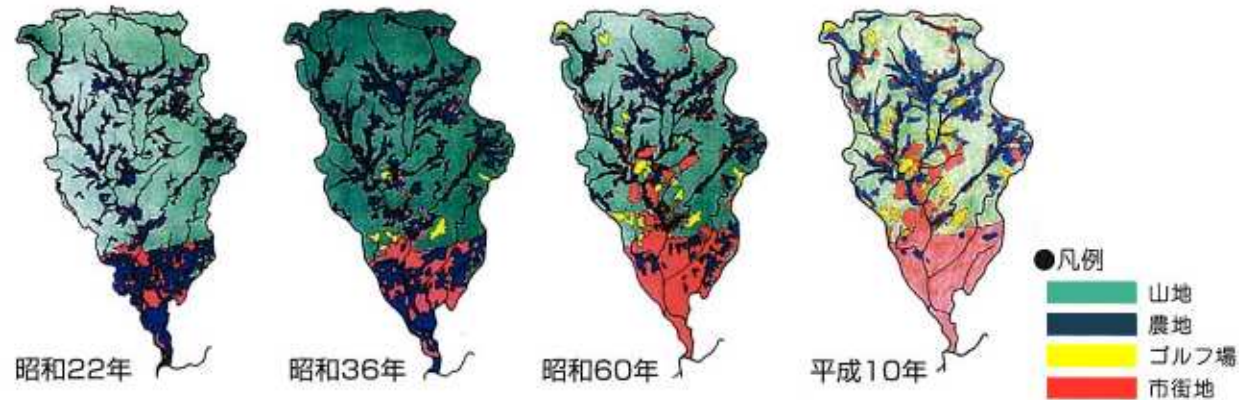
伊丹市・宝塚市・川西市・猪名川町の人口推移 (S25～H22)



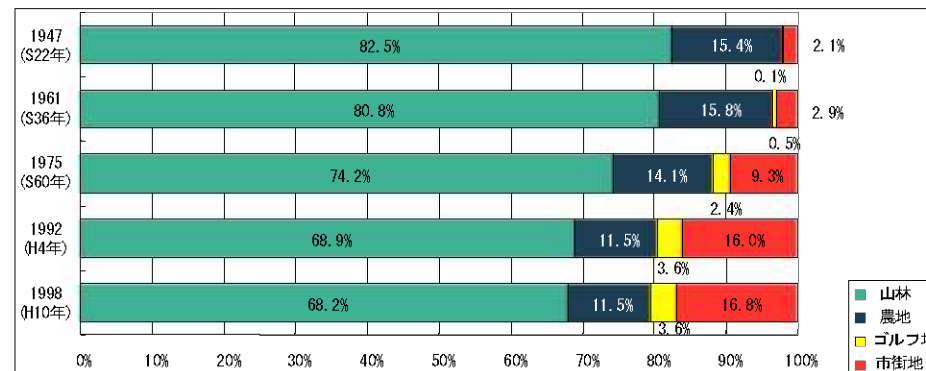
出典:兵庫県HP(県統計 人口関連データ)

土地利用(流域)

- ・昭和20年頃の土地利用は、山林、農地が95%以上を占めていたが、昭和30年以降は、大都市への人口集中等により市街化が進み、平成10年には、山林、農地が80%に減少し、市街地が17%に増加している。



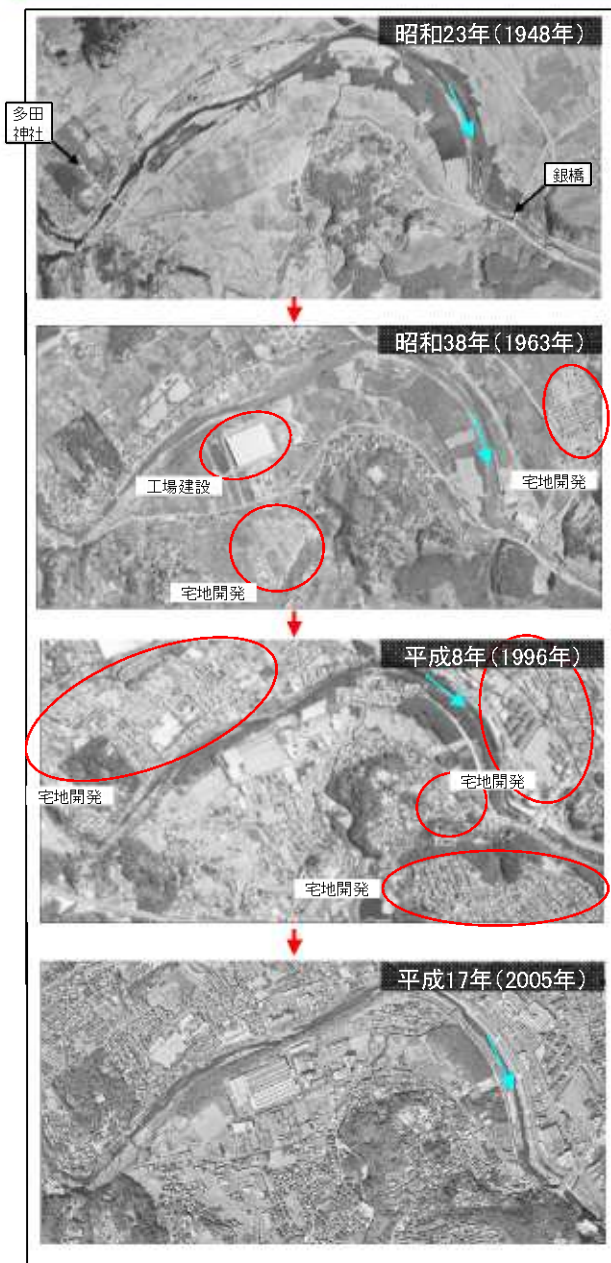
猪名川流域の市街化率の変遷



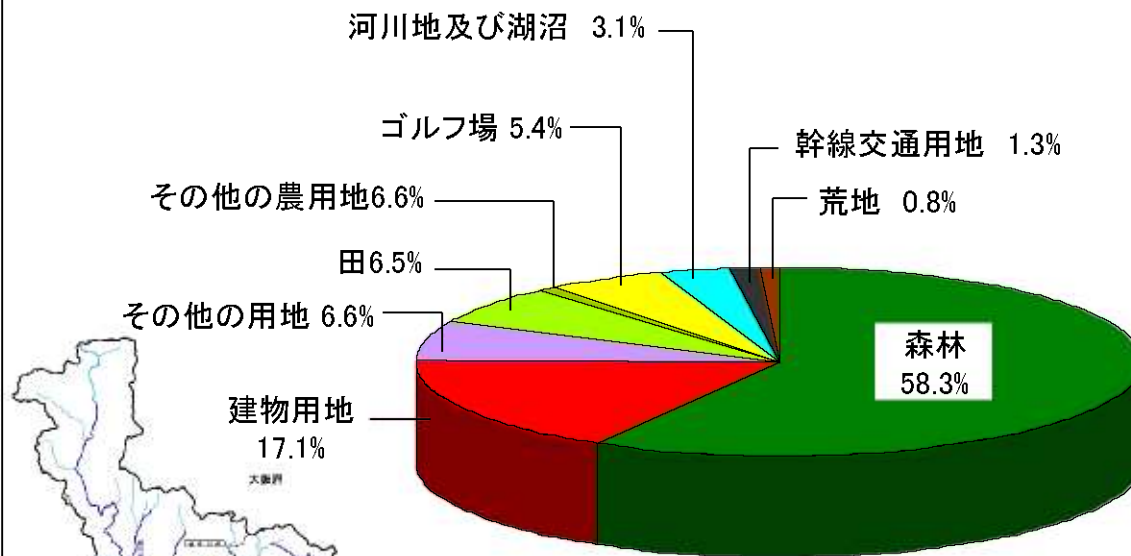
猪名川流域の土地利用の経年変化

出典:「猪名川流域の総合治水対策」パンフレット
猪名川流域総合治水対策協議会

土地利用(圏域)



- ・森林の占める比率が58.3%と最も高い。
- ・次いで、建物用地は17.1%、田は6.5%である。



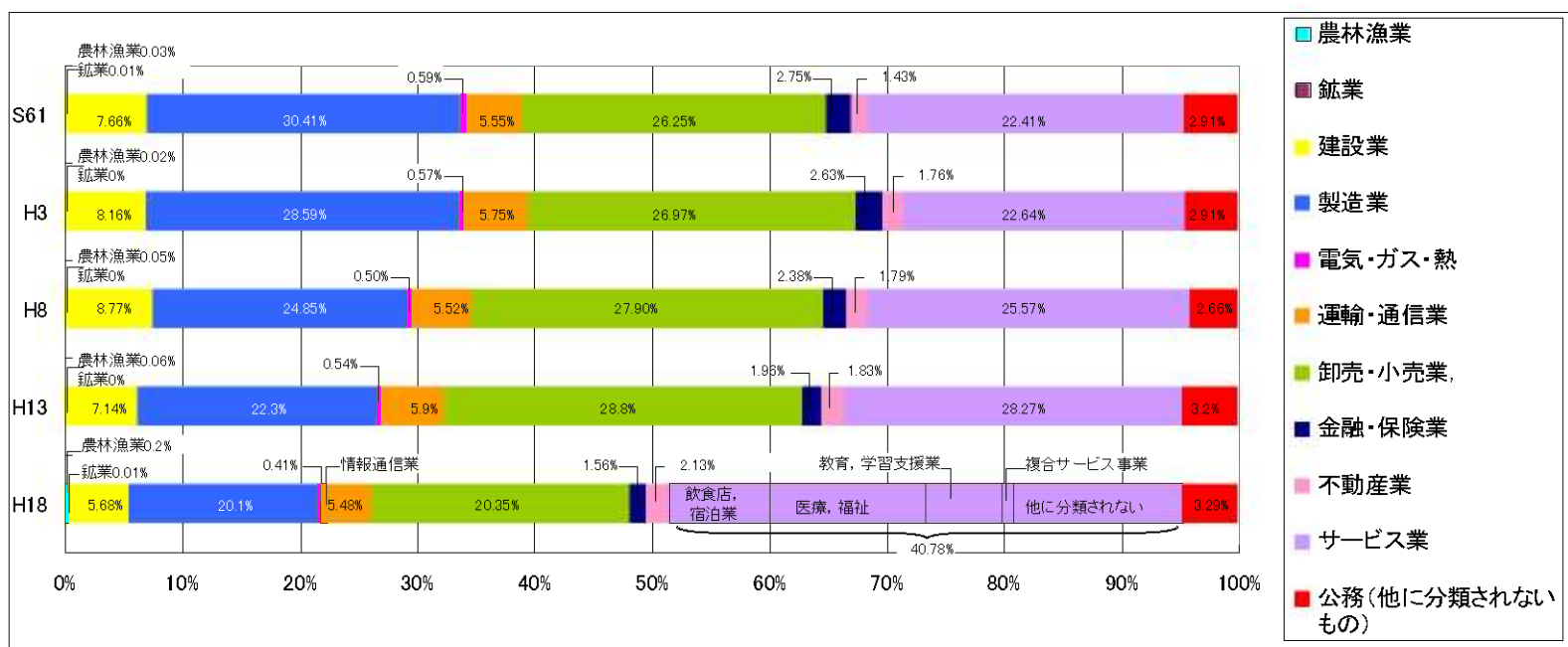
猪名川圏域の土地利用 (H18年度)

データ出典：国土数値情報ダウンロードサービス

産業

- ・製造業への従業者は経年的に減少している。
- ・逆に、サービス業への従業者は増加している。

産業別従業者数人口の推移
(伊丹市・宝塚市・川西市・猪名川町(S61~H18))



兵庫県統計書(平成18年版)データより算出

歴史及び文化(1)

・国指定の重要文化財、登録有形文化財、史跡名勝記念物、県指定の有形文化財(建造物)、天然記念物について、猪名川圏域の分布状況を示す。

・多田神社、戸隠神社本殿の重要文化財などが見られる。



●県指定

No.	市町名	名称	文化財種類
a	猪名川町	天沢寺石造燈籠(天沢寺)	県指定文化財(建造物)
b		八坂神社本殿	県指定文化財(建造物)
c		八幡神社本殿	県指定文化財(建造物)
d	川西市	多田神社南門	県指定文化財(建造物)
e		多田神社東門	県指定文化財(建造物)
f		多田神社西門	県指定文化財(建造物)
g		六所神社本殿	県指定文化財(建造物)
h		蔵島神社本殿	県指定文化財(建造物)
i		春日神社本殿	県指定文化財(建造物)
j		満願寺本堂内宮殿	県指定文化財(建造物)
k	伊丹市	春日神社本殿	県指定文化財(建造物)
l		旧石橋家住宅	県指定文化財(建造物)
m	川西市	小戸神社の大クス	県指定文化財(記念物)

凡例

国指定

- 重要文化財
- 登録有形文化財(建造物)
- 史跡名勝記念物

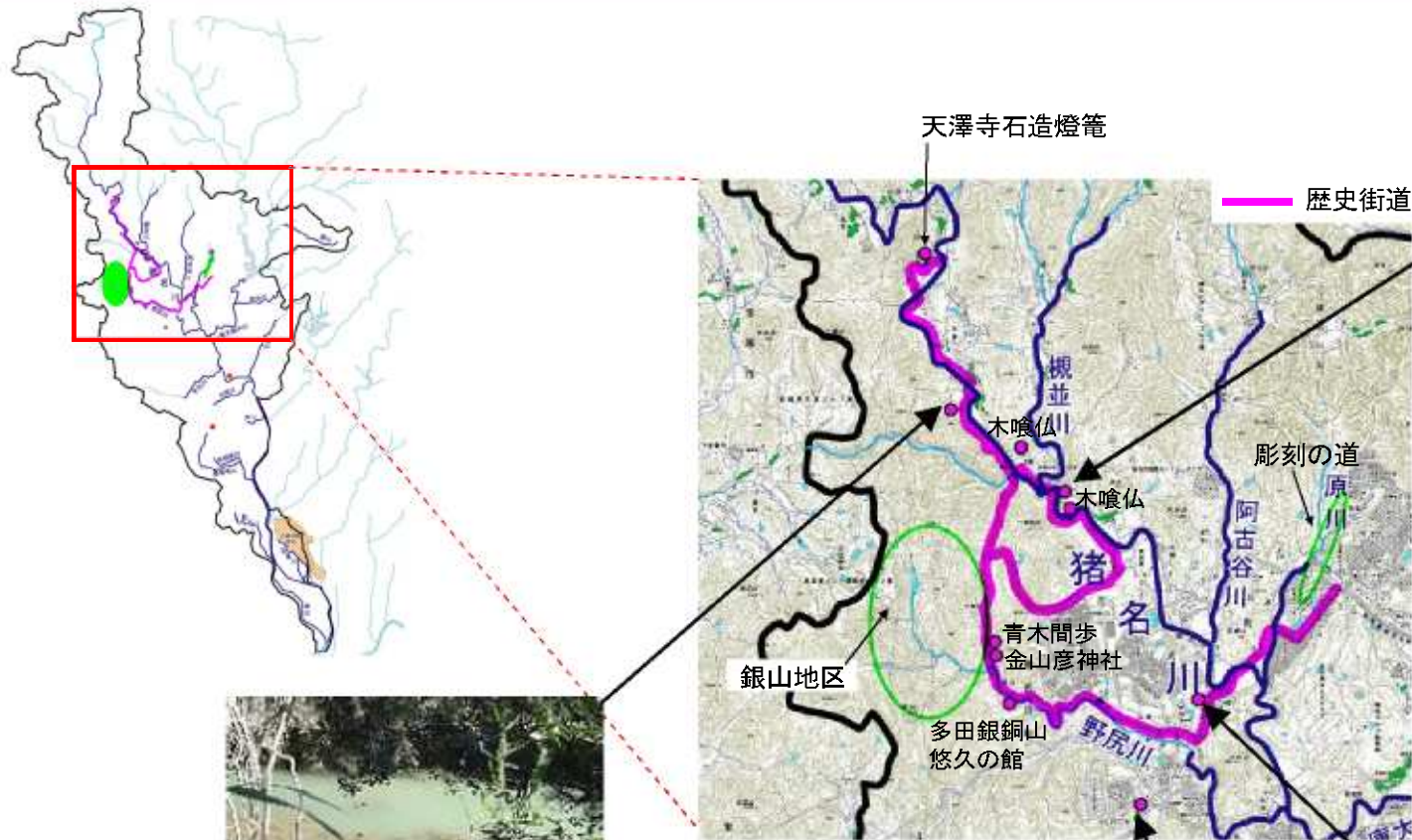
県指定

- 県指定有形文化財(建造物)
- 天然記念物

●国指定

No.	市町名	名称	文化財種類	種別	備考
1	猪名川町	戸隠神社本殿	国宝・重要文化財(建造物)	重要文化財	近世以前/神社
2		仁部家住宅主屋	登録有形文化財(建造物)	住宅	建築物
3		仁部家住宅石垣	登録有形文化財(建造物)	住宅	その他工作
4		仁部家住宅長屋門	登録有形文化財(建造物)	住宅	建築物
5		仁部家住宅庭塀	登録有形文化財(建造物)	住宅	その他工作
6		仁部家住宅庭門	登録有形文化財(建造物)	住宅	その他工作
7		仁部家住宅土蔵	登録有形文化財(建造物)	住宅	建築物
8		仁部家住宅納屋	登録有形文化財(建造物)	住宅	建築物
9		仁部家住宅板塀	登録有形文化財(建造物)	住宅	その他工作
10		仁部家住宅味増蔵	登録有形文化財(建造物)	住宅	建築物
11		仁部家住宅裏門及び石垣	登録有形文化財(建造物)	住宅	その他工作
12		静思館(旧田家住宅)衣裳蔵	登録有形文化財(建造物)	住宅	建築物
13		静思館(旧田家住宅)井戸小屋	登録有形文化財(建造物)	住宅	建築物
14		静思館(旧田家住宅)乾蔵	登録有形文化財(建造物)	住宅	建築物
15		静思館(旧田家住宅)給水塔	登録有形文化財(建造物)	住宅	その他工作
16		静思館(旧田家住宅)供待ち	登録有形文化財(建造物)	住宅	建築物
17		静思館(旧田家住宅)扉部屋	登録有形文化財(建造物)	住宅	建築物
18		静思館(旧田家住宅)主屋	登録有形文化財(建造物)	住宅	建築物
19		静思館(旧田家住宅)書斎蔵	登録有形文化財(建造物)	住宅	建築物
20		静思館(旧田家住宅)勝手門	登録有形文化財(建造物)	住宅	その他工作
21		静思館(旧田家住宅)炭部屋	登録有形文化財(建造物)	住宅	建築物
22		静思館(旧田家住宅)茶室	登録有形文化財(建造物)	住宅	建築物
23		静思館(旧田家住宅)中蔵	登録有形文化財(建造物)	住宅	建築物
24		静思館(旧田家住宅)庭塀	登録有形文化財(建造物)	住宅	その他工作
25		静思館(旧田家住宅)土塀	登録有形文化財(建造物)	住宅	その他工作
26		静思館(旧田家住宅)道具部屋	登録有形文化財(建造物)	住宅	建築物
27		静思館(旧田家住宅)番小屋	登録有形文化財(建造物)	住宅	建築物
28		静思館(旧田家住宅)裏門	登録有形文化財(建造物)	住宅	建築物
29		静思館(旧田家住宅)味増部屋	登録有形文化財(建造物)	住宅	建築物
30	川西市	多田神社 随神門	国宝・重要文化財(建造物)	重要文化財	近世以前/神社
31		多田神社 拝殿	国宝・重要文化財(建造物)	重要文化財	近世以前/神社
32		多田神社 本殿	国宝・重要文化財(建造物)	重要文化財	近世以前/神社
33		満願寺九重塔	国宝・重要文化財(建造物)	重要文化財	近世以前/その他
34		加茂遺跡	史跡名勝記念物	史跡	—
35		多田院	史跡名勝記念物	史跡	—
36		旧平賀家住宅実験研究棟	登録有形文化財(建造物)	住宅	建築物
37		旧平賀家住宅主屋	登録有形文化財(建造物)	住宅	建築物
38		水口家住宅井戸屋	登録有形文化財(建造物)	住宅	その他工作
39		水口家住宅主屋	登録有形文化財(建造物)	住宅	建築物
40		水口家住宅蔵	登録有形文化財(建造物)	住宅	建築物
41		川西市纏土館(旧平安家住宅根塀)	登録有形文化財(建造物)	住宅	その他工作
42		川西市纏土館(旧平安家住宅乾蔵)	登録有形文化財(建造物)	住宅	建築物
43		川西市纏土館(旧平安家住宅玄関)	登録有形文化財(建造物)	住宅	建築物
44		川西市纏土館(旧平安家住宅玄関門)	登録有形文化財(建造物)	住宅	その他工作
45		川西市纏土館(旧平安家住宅主屋)	登録有形文化財(建造物)	住宅	建築物
46		川西市纏土館(旧平安家住宅西蔵)	登録有形文化財(建造物)	住宅	建築物
47		川西市纏土館(旧平安家住宅西納屋)	登録有形文化財(建造物)	住宅	建築物
48		川西市纏土館(旧平安家住宅大納屋)	登録有形文化財(建造物)	住宅	建築物
49		川西市纏土館(旧平安家住宅異蔵)	登録有形文化財(建造物)	住宅	建築物
50		川西市纏土館(旧平安家住宅長屋門)	登録有形文化財(建造物)	住宅	建築物
51		川西市纏土館(旧平安家住宅南納屋)	登録有形文化財(建造物)	住宅	建築物
52		川西市纏土館(旧平安家住宅北蔵)	登録有形文化財(建造物)	住宅	建築物
53		川西市纏土館(旧平安家住宅北納屋)	登録有形文化財(建造物)	住宅	建築物
54		川西市纏土館(旧平安家住宅浴室)	登録有形文化財(建造物)	住宅	建築物
55		川西市纏土館(旧平安家住宅離れ)	登録有形文化財(建造物)	住宅	建築物
56	宝塚市	正司家住宅洋館	登録有形文化財(建造物)	住宅	建築物
57		正司家住宅和館	登録有形文化財(建造物)	住宅	建築物
58	伊丹市	田能遺跡	史跡名勝記念物	史跡	—

歴史及び文化(2)



屏風岩

猪名川が山を削り、高さ30m余りの断崖を屏風のように連ねている。「摂津名所図絵でみる猪名川」の今昔より



姫ヶ淵

姫ヶ淵

戦国時代、明智光秀の娘「佐保姫(さほひめ)」が猪名川に身を投げ、白い蛇に化身したという伝承があり、それからこのあたりの地名を佐保姫といい、姫が入水したところを姫ヶ淵と呼ぶようになった。(猪名川町HP)

戸隠神社

神社の創建時期は不明。

摂津国川辺郡で古いとされる戸隠神社は川西市山原の戸隠神社である。天岩戸開きの際の岩戸の一部が飛んできて落ちたとの伝承がある。

(<http://kamnavi.jp/en/settu/inatogak.htm>)



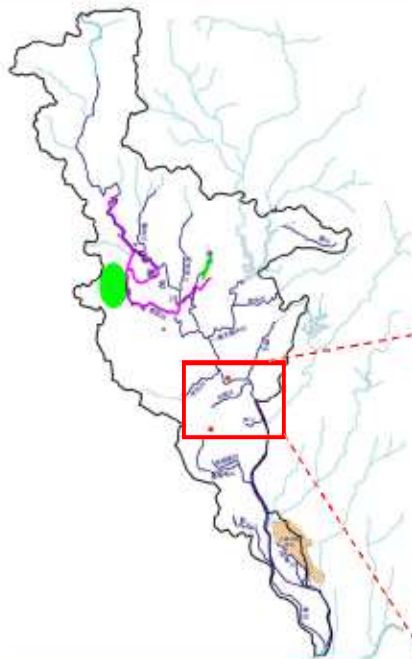
戸隠神社(国指定重要文化財)



静思館(国指定登録有形文化財)

(出典:猪名川町HP)

歴史及び文化(3)



多田神社



多田神社拝殿

多田神社

関西の日光とたたえられる大社で、源氏発祥の地。源満仲が元禄元年に創建した多田院から始まったもので、現在の建物は、寛政7年に徳川家綱によって再興された。

(出典: 摂津名所図絵でみる猪名川の今昔より)



鼓ヶ滝

銭取岩



摂津名所図会(銭取岩)

1846年に新道が開通し明治中頃まで通行料を徴収していた場所

鼓ヶ滝の九頭竜

清和源氏の祖としてあがめられている源満仲は、自分の居城を築く土地を定めるため摂津の国・一の宮(大阪市)の住吉神社に願をかけた。

満仲はお告げのとおり、この地に居をかまえた。これが多田源氏の発祥となった。

また途中で矢の行方を問うたあたりには「矢間」という地名が残っている。

満仲の矢で死んだ龍は、「九頭大明神」として川西市東多田の地にまつられ、今でも地元では「クドウさん」と呼ばれ大切にまつられている。

満願寺



満願寺九重塔
(国指定重要文化財)

交通



- ・ 鉄道は、JR福知山線、阪急宝塚線が平野部を東西・南北に、能勢電鉄が川西市を南北に走っている。
- ・ 道路は、国道として、伊丹市域で171号、川西・宝塚市域で176号が、川西市域で173号線が通っている。
- ・ 県道として、東西方向に325号、324号、南北方向に12号などが通っている。
- ・ 高速交通として、名神高速、中国自動車道があり、伊丹市域の東部には大阪国際空港がある。

4. 河川の概要

4.1 災害の概要

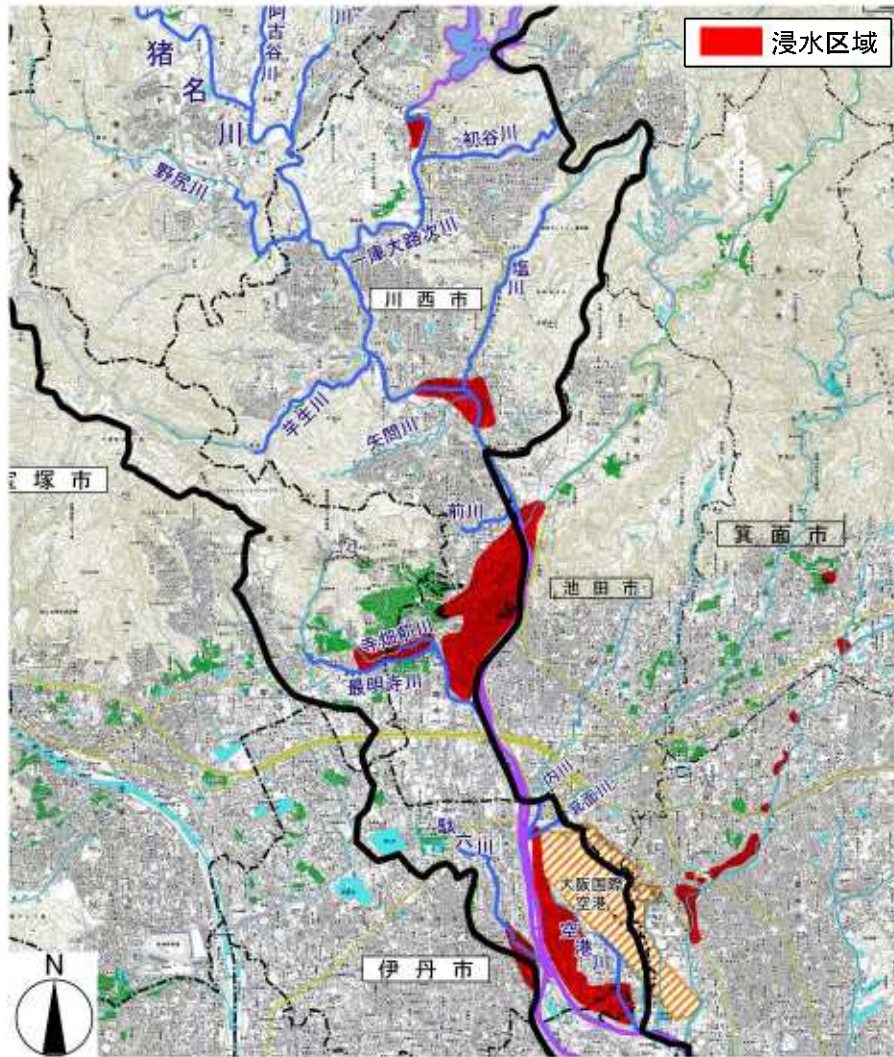
被害の状況

・主要な豪雨時の被害状況を以下に示す。

被害発生年月日 (豪雨発生要因)	流域平均最大 日雨量(mm)		流域平均最大 1時間雨量(mm)		被害の発生した河川名	浸水面積 (ha)	床下浸水 (棟)	床上浸水 (棟)
	小戸	戸の内	小戸	戸の内				
S13.7.3~5 (阪神大水害)	173	-	-	-	(詳細不明)			
S28.9.22~25 (台風13号)	176	140	28	26	(詳細不明)			
S35.8.29~30 (台風16号)	312	334	41	39	(詳細不明)			
S42.7.7~9 (梅雨前線)	179	194	33	36	猪名川、駄六川、 最明寺川、藻川	585	1,462	0
S43.8.27~29 (台風10号)	102	88	29	26	猪名川	35	51	0
S47.7.9~12	166	168	21	19	猪名川、最明寺川、一庫大路次川、 塩川、野尻川他	46.5	394	8
S47.9.14~16 (台風20号)	143	136	35	34	猪名川、槻並川、塩川、 矢間川、前川	17	65	53
S58.9.24~28 (台風10号)	135	131	30	30	空港川他	12.5	82	2
H1.9.2~3	142	139	35	31	猪名川他	3	2	0
H6.9.5~9 (伊丹豪雨)	16.4	55	-	-	「水害統計」に記載なし	69.5	2,240	1,104
H9.7.2~18	49	55	17	18	寺畑前川他	2.4	119	55
H9.8.3~13 (台風11号)	79	72	28	28	猪名川、寺畑前川他	5.5	321	109
H11.6.22~7.4	165	173	36	40	猪名川他	29.1	407	71
H16.10.20 (台風23号)	138	133	24	23	猪名川他			

出典:被害は水害統計(S13、S28、S35は「淀川水系河川整備基本方針 基本高水等に関する資料【淀川編】国土交通省河川局」、雨量は国土交通省調べ。

豪雨による被害(昭和42年)



昭和42年7月豪雨による浸水範囲

昭和42年7月の豪雨

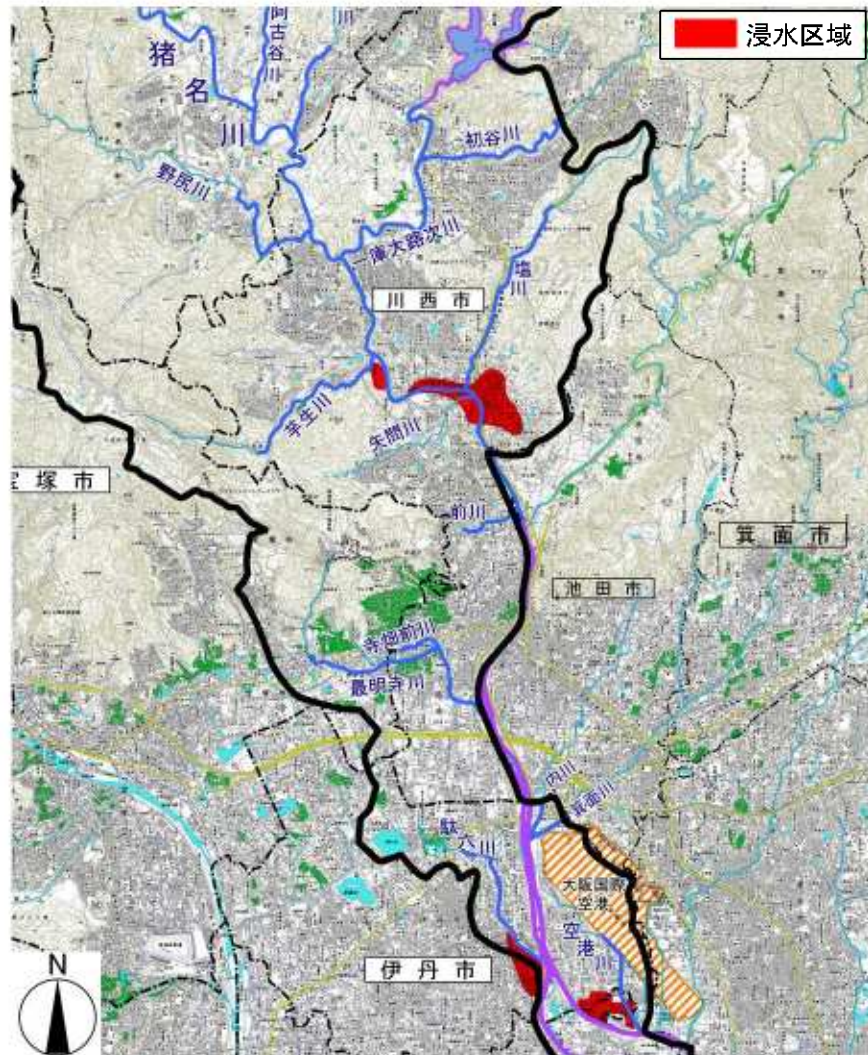
- ・台風7号くずれの低気圧に刺激され、西日本に停滞していた梅雨前線が9日朝から活発な活動を始め、猪名川流域では最大日雨量179mm、最大時間雨量33mm(小戸上流域平均)の降雨がもたらされた。
- ・床下浸水1,462戸、浸水面積585haの被害となった。



泥海と化した新興住宅街(川西市 寺畑)

(出典: 淀川水系流域委員会 第13回猪名川部会資料、平成14年8月)

豪雨による被害(昭和58年)



昭和58年9月豪雨による浸水範囲

昭和58年9月の豪雨

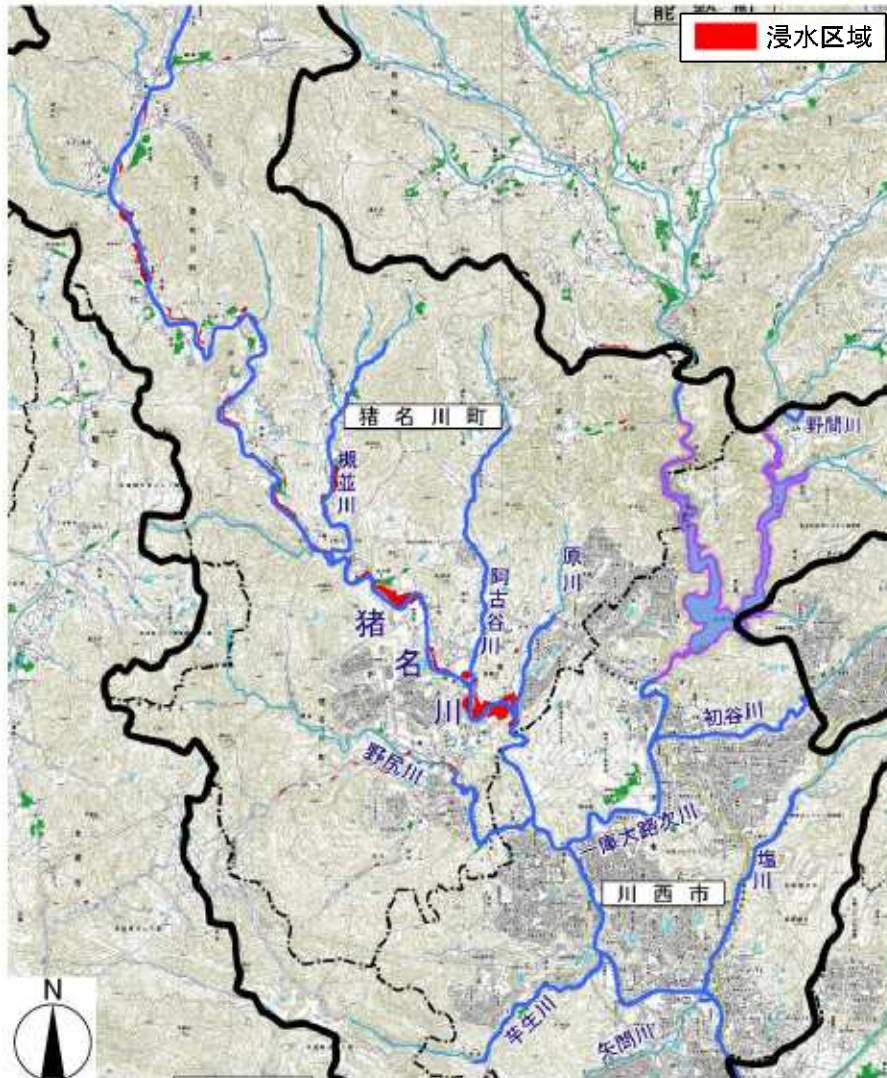
- ・台風10号が西日本に停滞している秋雨前線を刺激し、猪名川流域では最大日雨量135mm、最大時間雨量30mm(小戸上流域平均)の降雨がもたらされた。
- ・床上浸水2戸、床下浸水82戸、浸水面積12.5haの被害となった。



川西市多田桜木1丁目の浸水状況

(出典: 淀川水系流域委員会 第1回猪名川部会資料、平成13年5月)

豪雨による被害(平成16年)



平成16年10月台風23号による浸水範囲

平成16年10月の台風23号

- ・台風が西日本に上陸した10月20日は、九州地方から関東地方にかけての多くの地点で、これまでの日降水量の記録を上回る大雨となった。猪名川流域では、最大日雨量138mm、最大時間雨量24mm(小戸上流域平均)の降雨がもたらされた。



猪名川本川 多田大橋下流区間の出水状況

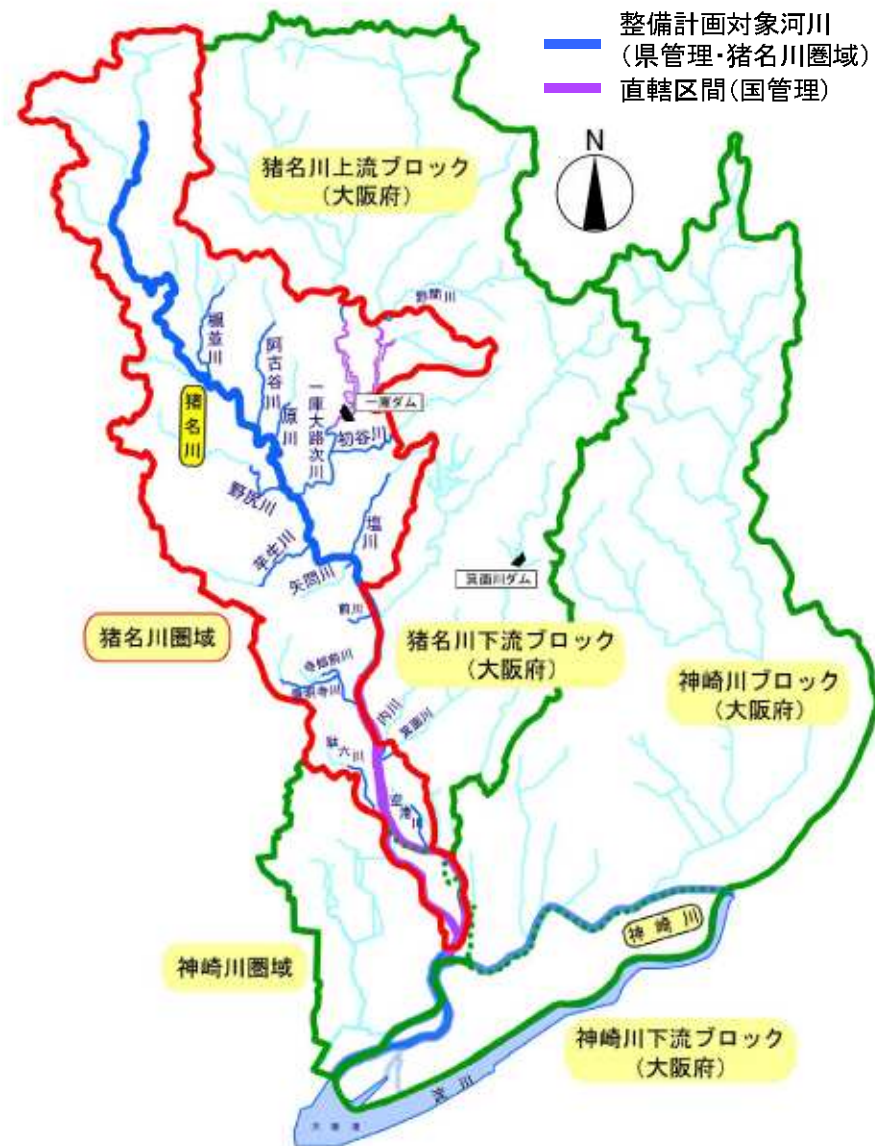
4.2 河川の現状

猪名川流域の現状

- 猪名川流域には洪水調節施設として、一庫ダム、箕面川ダムがある。

ダムの諸元等

項目	一庫ダム	箕面川ダム
利用目的	洪水調節、上水道、不特定利水	洪水調節、不特定利水
管理者	(独)水資源機構	大阪府
ダム型式	重力式コンクリートダム	ロックフィルダム
堤高	75.0m	47.0m
堤頂長	285.0m	222.5m
堤体積	441,000 m ³	600,000 m ³
流域面積	115.1km ²	6.7km ²
湛水面積	140ha	14ha
総貯水容量	33,300千m ³	2,000千m ³
有効貯水容量	30,800千m ³	1,800千m ³
洪水調節容量	17,500千m ³	1,500千m ³
利水容量	13,300千m ³	300千m ³
設計洪水流量	1,730 m ³ /s	275m ³ /s
計画高水流量	790m ³ /s	125m ³ /s
竣工年	1983年	1983年

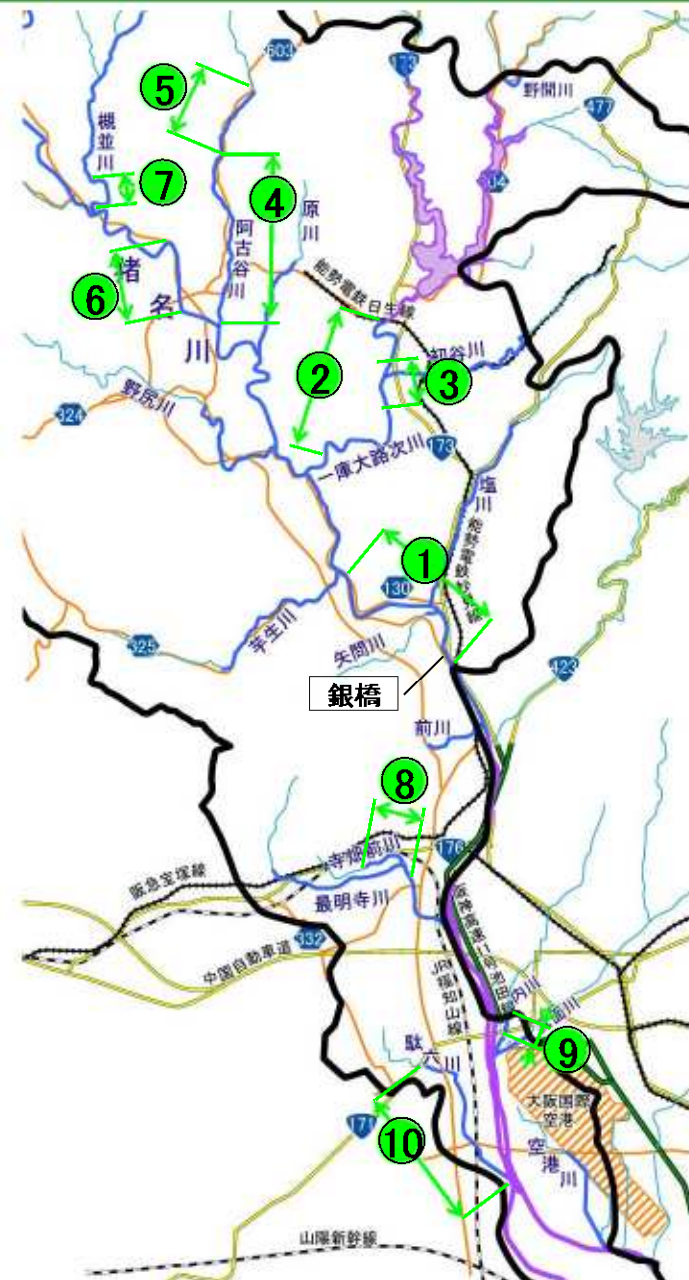


河川の概要 猪名川圏域

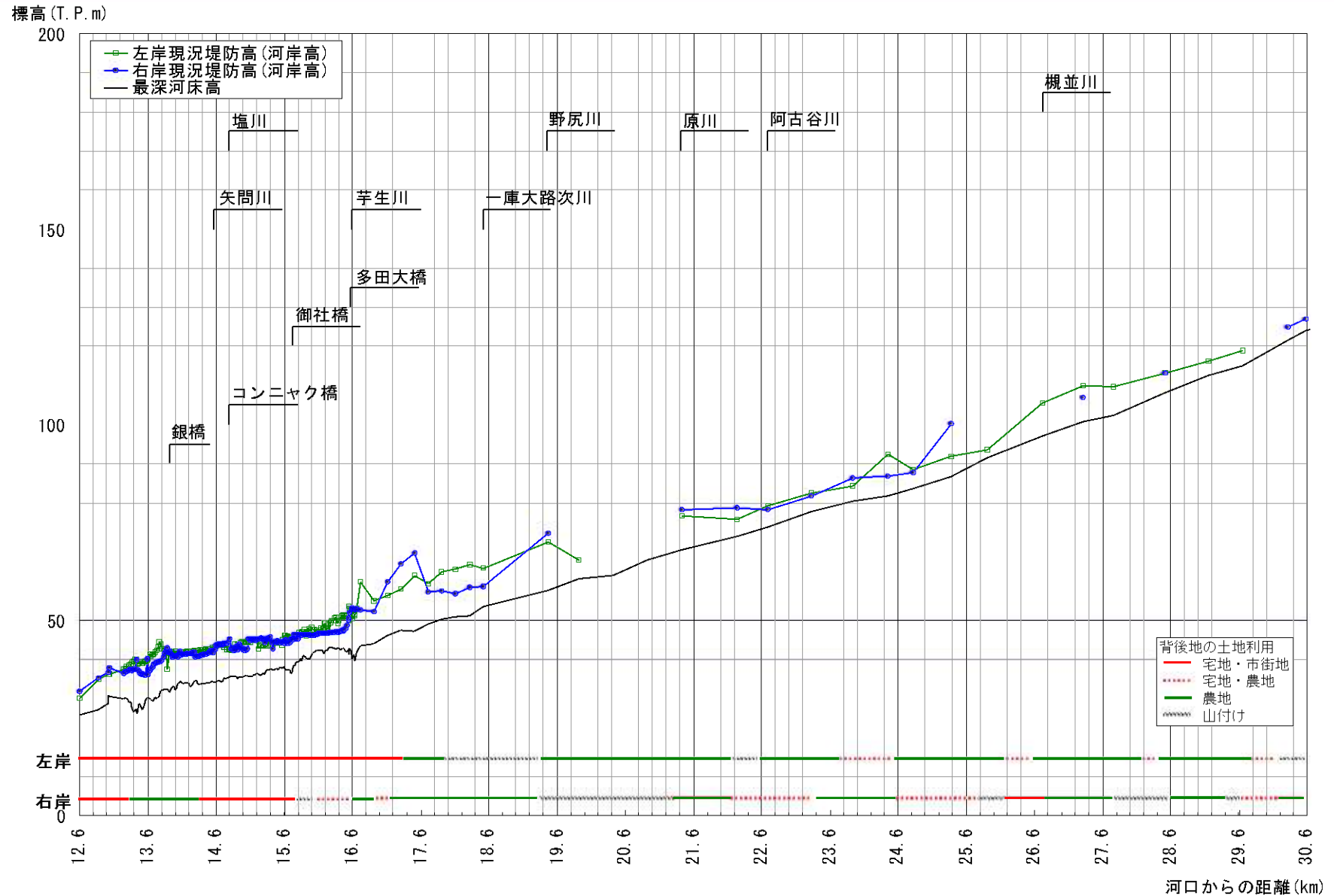
・既往の河川改修事業について、計画諸元と位置を示す。

改修計画諸元

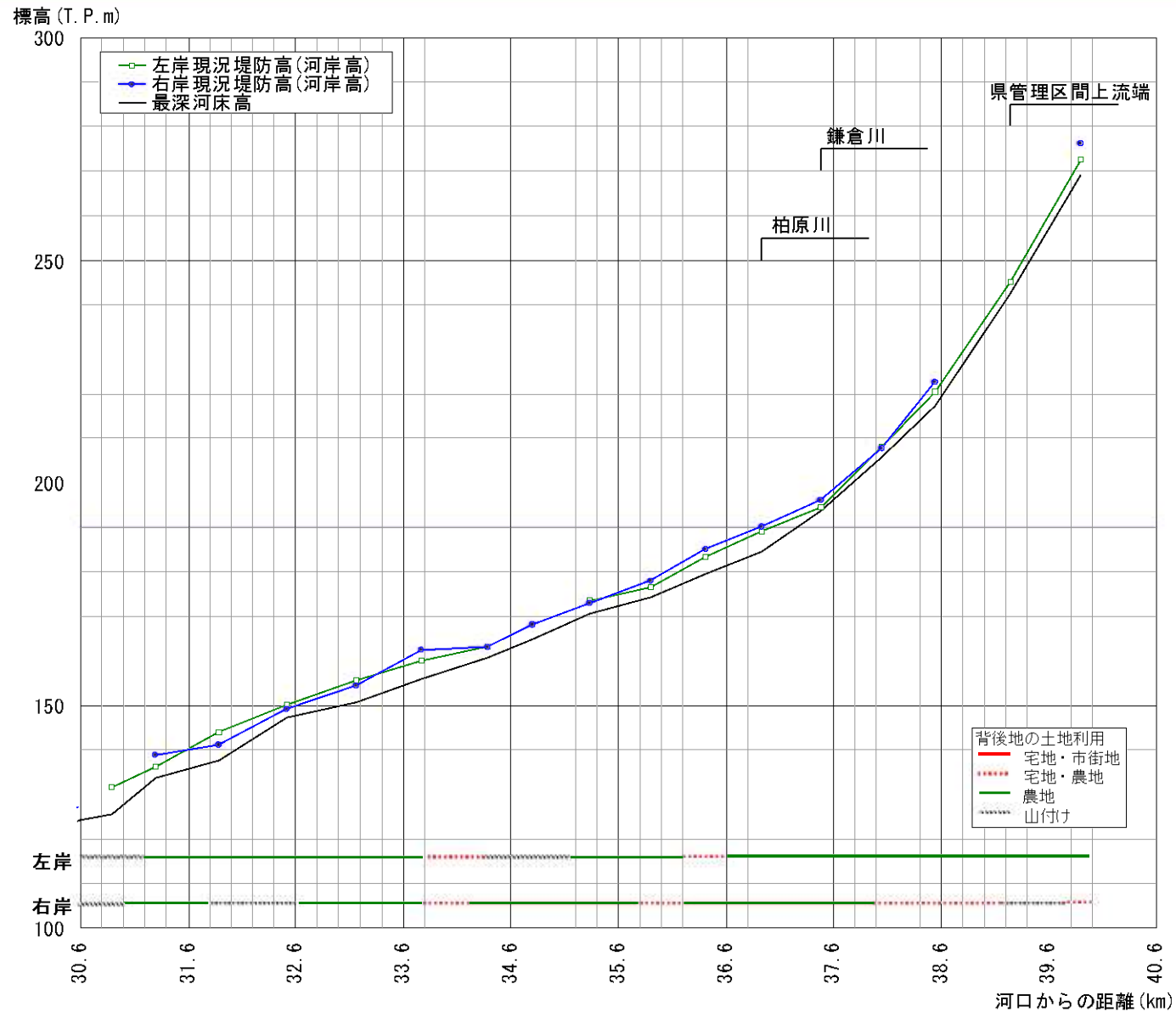
河川名	事業名	実施年度	延長(m)	
①	猪名川	総合治水対策特定河川事業	S59～	2,970
②	一庫大路次川	総合治水対策特定河川事業	S54～	2,910
③	一庫大路次川	河川局部改良事業	S50～S53	1,180
④	阿古谷川	S48河川等災害関連事業	S48	2,800
⑤	阿古谷川	S51河川等災害関連事業	S51	1,550
⑥	猪名川	S47河川等災害関連事業	S47	1,400
⑦	槻並川	河川局部改良事業	S52～H5	955
⑧	寺畑前川	総合治水対策特定河川事業 床上浸水対策特別緊急事業	H11～H20	940
⑨	内川	河川局部改良事業	H元～H7	340
⑩	駄六川	総合治水対策特定河川事業	S54～H18	1,830



河川の概要 猪名川(縦断図)



河川の概要 猪名川(縦断図)



河川の概要 猪名川

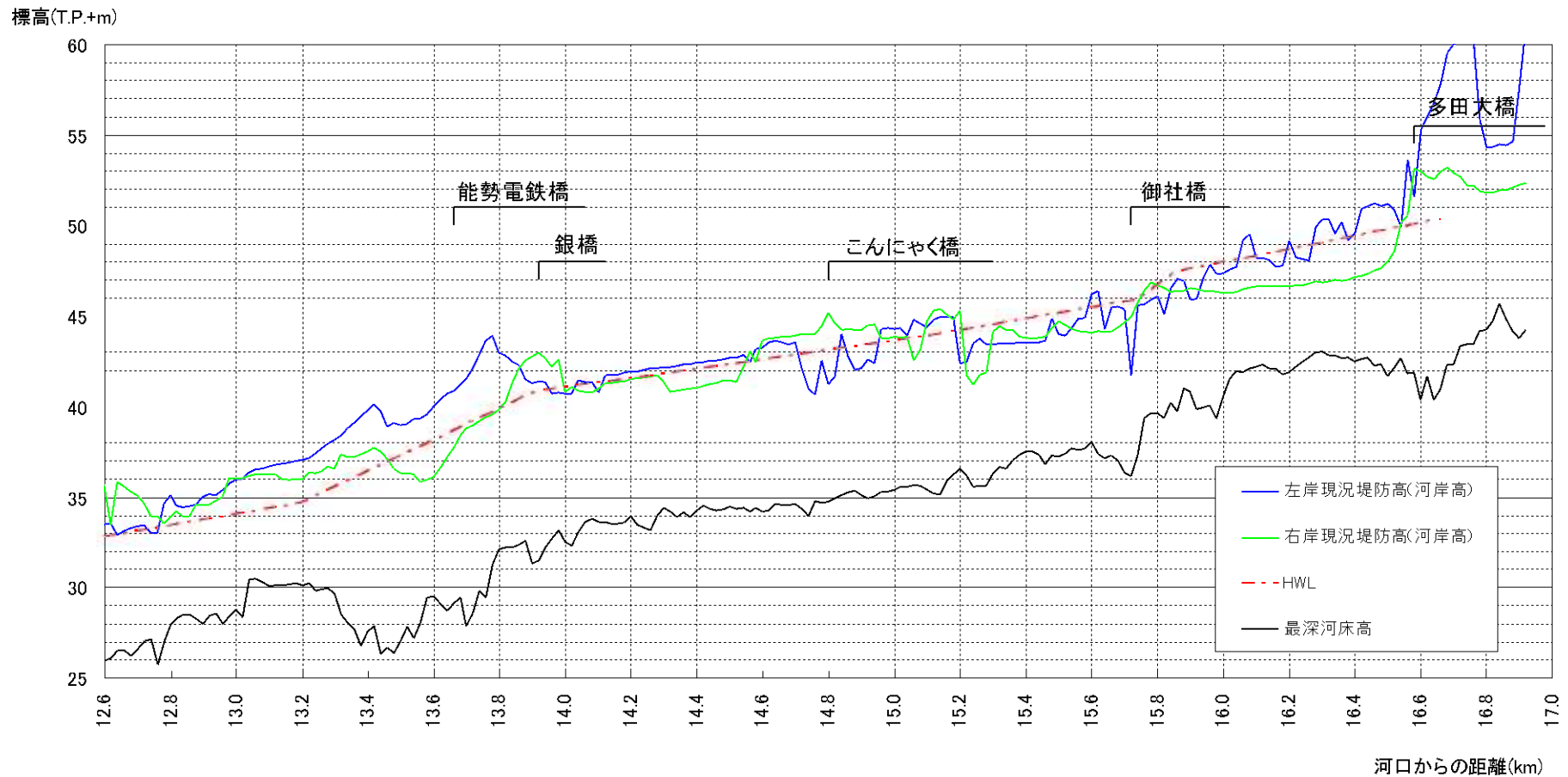
- 猪名川総合治水対策特定河川事業について、河川改修計画諸元、当該区間の河川の現況を示す。

猪名川改修計画諸元

項目		諸元
河川諸元	流域面積	255.1km ²
	延長	2.97km
	勾配	1/315
河川改修	改修事業	総合治水対策特定河川事業
	安全度	1/10
	改修流量	1,420m ³ /s



河川の概要 猪名川(縦断図)



猪名川(現地の状況)

多田大橋より上流を望む



御社橋下流左岸より下流を望む



コンニャク橋より上流を望む



コンニャク橋より下流を望む



多田大橋より下流を望む



能勢電鉄橋付近右岸より上流を望む



左岸より小戸井堰を望む



御社橋より上流を望む

河川の概要 一庫大路次川

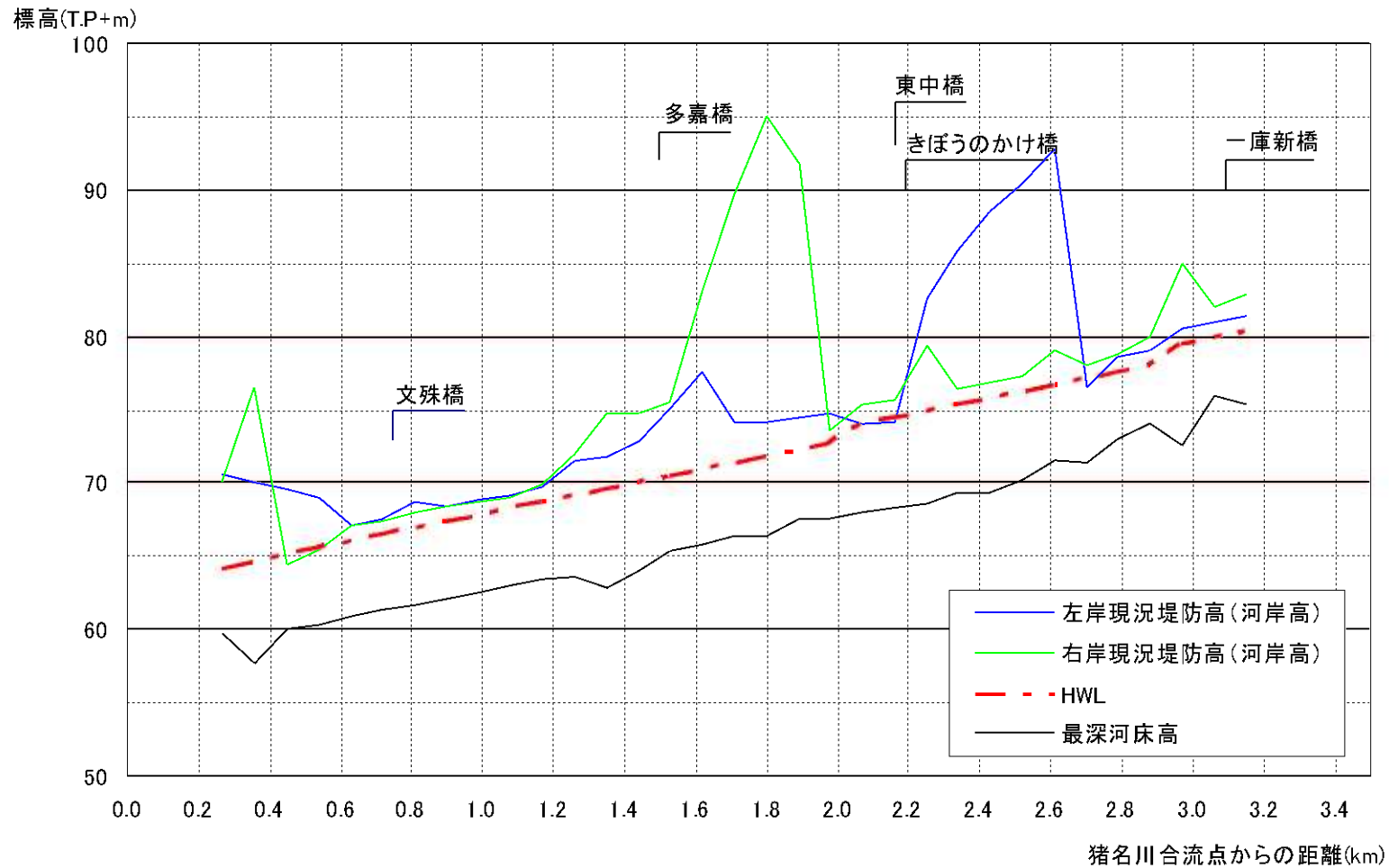
- 一庫大路次川総合治水対策特定河川事業について、河川改修計画諸元、当該区間の河川の現況を示す。

②一庫大路次川改修計画諸元

項目		諸元
河川諸元	流域面積	132.3km ²
	延長	2.91km
	勾配	1/200
河川改修	改修事業	総合治水対策特定河川事業
	安全度	1/10
	改修流量	780m ³ /s



河川の概要 一庫大路次川(縦断図)



一庫大路次川(現地の状況)



文殊橋より下流を望む



清流台左岸より下流を望む



文殊橋付近



多嘉橋より上流を望む



多嘉橋より下流を望む



東畦野4丁目左岸より上流を望む

4.3 下水道の現状

下水道整備の現状

・ 下水道の基本計画

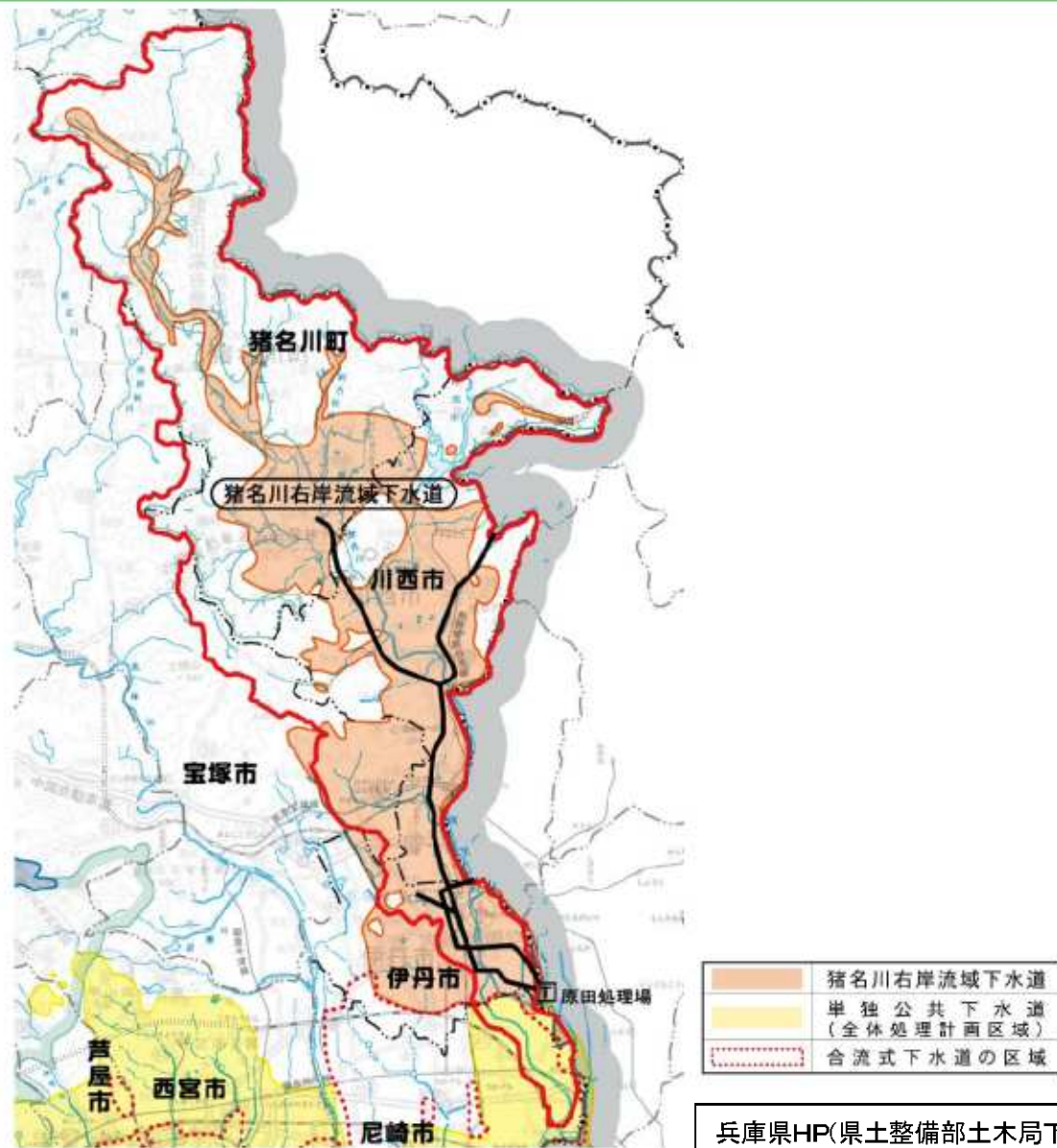
行政区域	区分	処理区	区域	処理区域面積(ha)	排除方式	摘要
伊丹市 宝塚市 川西市 猪名川町	流域 関連	原田	伊丹市東部、宝塚市東部、川西市中央部、猪名川町中央部	6,617.1	分流式	猪名川流域下水道 原田処理場

・ 普及率(汚水)

行政区域	人口普及率(%)	人口(万人)
伊丹市	99.9%	19.2
宝塚市	98.5%	21.9
川西市	99.4%	15.7
猪名川町	98.7%	3.0

※H21年度末(人口はH17)

下水道の整備区域



猪名川 流域下水道 平面図

兵庫県HP(県土整備部土木局下水道課)の
流域下水道平面図に圏域界を加筆

4.4 内水面漁業の現状

内水面漁業の現状

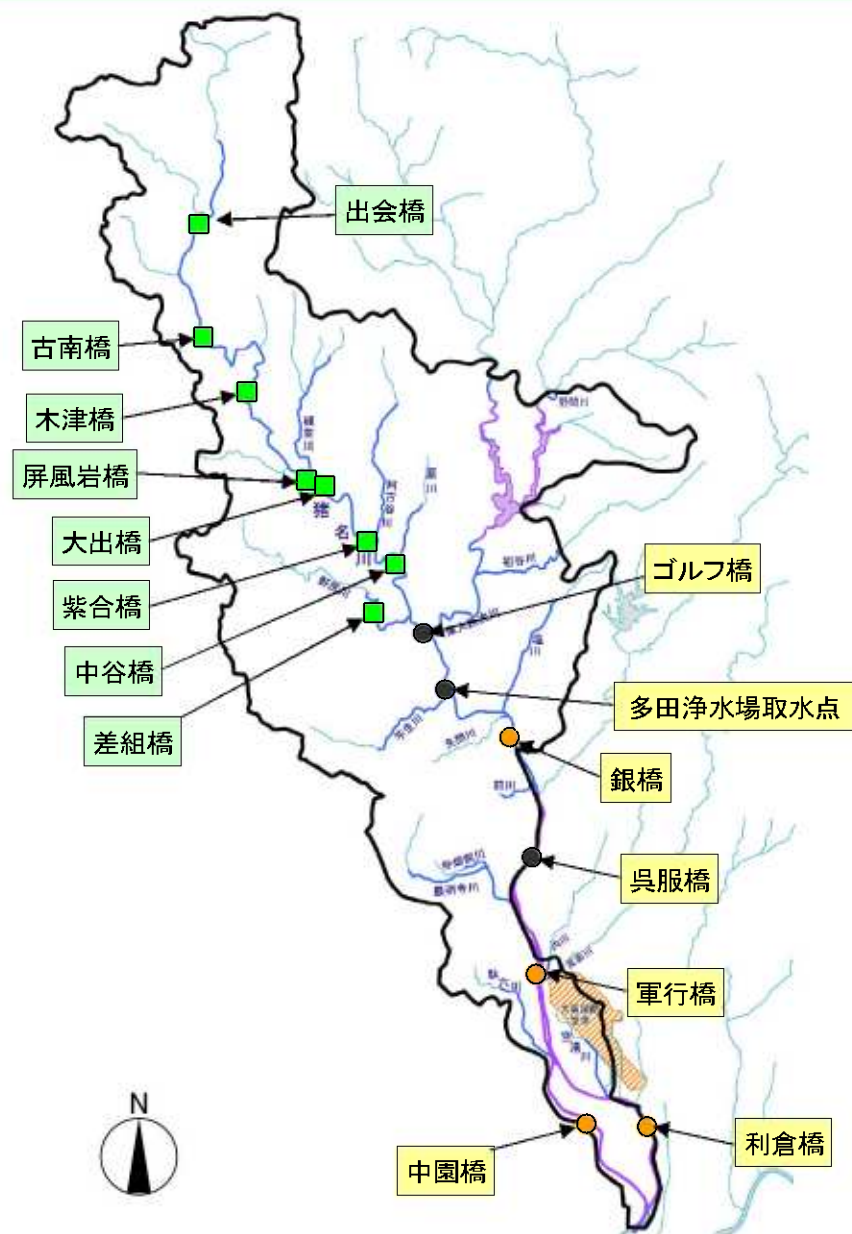
- ・猪名川圏域においては、最下流部を除くほぼ全区間に内水面漁業が設定されている。
- ・県管理区間では、多田、猪名川上流(以上、猪名川)、猪名川(一庫大路次川)の各漁業協同組合が漁業を行っている。

漁業権の設定状況

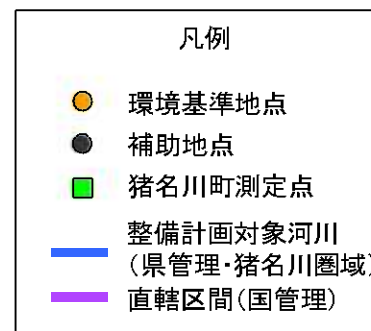
漁業権者	対象魚種 (漁業の時期)	漁業協同組合	漁業の位置 (対象河川)
猪名川水系 漁業組合連合会	あゆ にじます こい ふな うなぎ おいかわ	藻川	猪名川本川 (宮園橋～軍行橋間)
		多田	猪名川本川 (軍行橋～天狗岩間)
		猪名川上流	猪名川本支川 (天狗岩上流)
		猪名川	一庫大路次川本支川 (兵庫県内)

4.5 河川の水質

水質測定地点

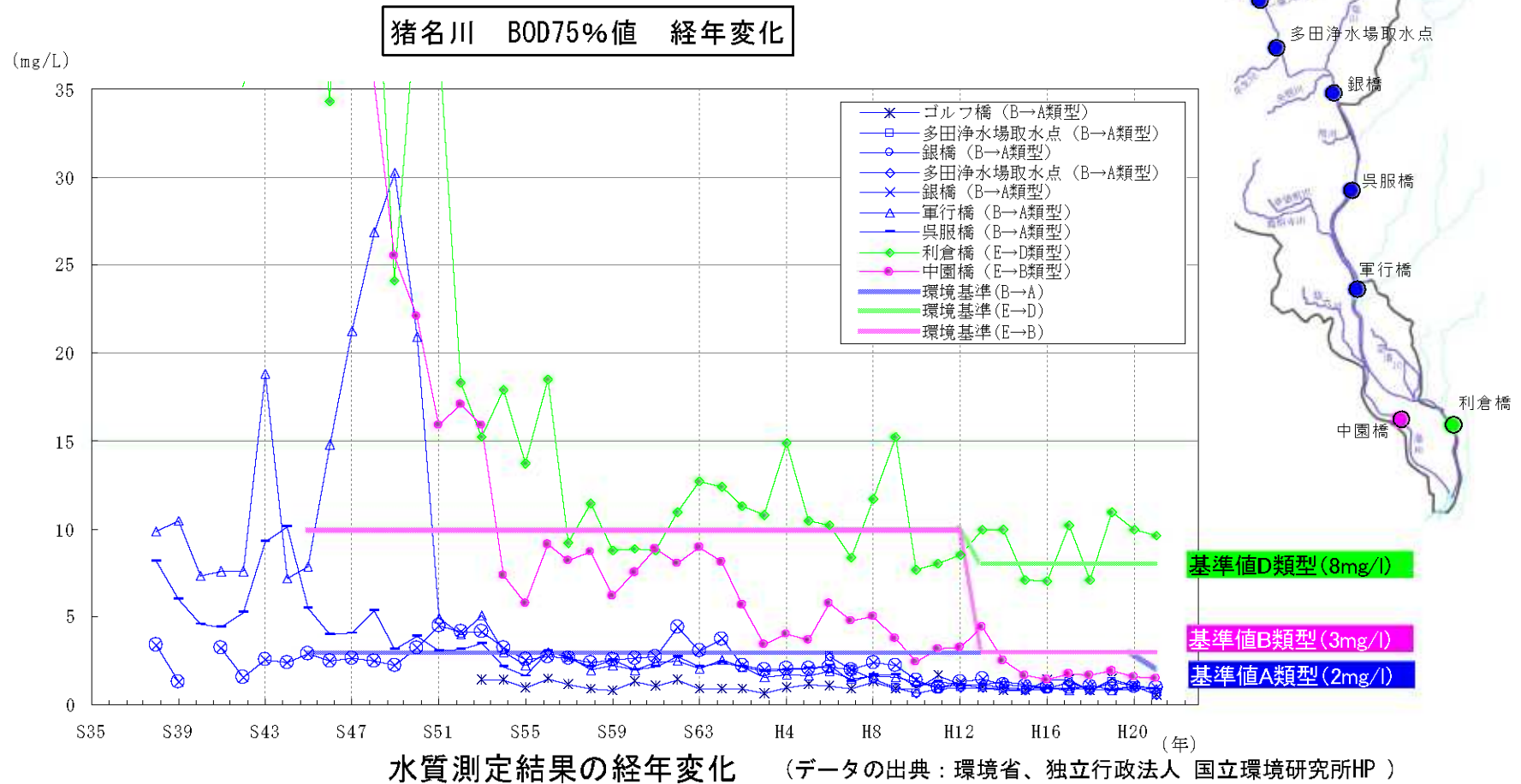


- ・猪名川圏域において、水質に関する環境基準地点、補助地点、猪名川町の測定地点は左図のとおりである。
（国管理区間の補助地点を除くと15地点）



水質 (猪名川)

- 猪名川中流部(銀橋、多田浄水場取水地点、ゴルフ場)では、環境基準値(A類型2.0mg/l)を概ね下回る。



注1)平成12年度における環境基準の水域類型指定の見直し

- 猪名川下流(1) (箕面川合流点より下流(藻川を含む)。ただし、藻川分岐点から藻川合流点を除く) : 河川E類型→河川B類型
- 猪名川下流(2) (藻川分岐点から藻川合流点まで) : 河川E類型→河川D類型

注2)平成21年度における環境基準の水域類型指定の見直し

- 猪名川上流(箕面川合流点より上流) : 河川B類型→河川A類型

水質 (猪名川)

- ・猪名川中流部～上流部（県管理区間）では、BODの年平均値が1.5mg/lを下回っている。

BOD年平均値の一覧【平成17～20年度】

管理	地点	BOD(mg/l)			
		平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
国管理区間	中園橋	1.8	1.7	1.7	1.8
	利倉橋	8.2	6	9	8.4
	軍行橋	0.9	1	0.8	0.9
	呉服橋	0.9	0.8	0.7	0.8
県管理区間	銀橋	1	1	0.8	1
	多田浄水場取水点	1.1	0.7	1.2	1
	ゴルフ橋	1.3	0.7	1.3	0.9
	差組橋	1	1	1	1.2
	中谷橋	1	1	0.9	1.2
	紫合橋	0.9	0.9	1	1.1
	大出橋	1.1	1.2	0.7	1.2
	屏風岩橋	0.8	0.9	1.1	1.3
	木津橋	0.8	1	0.8	1
	古南橋	0.9	0.9	1	1
	出会橋	0.7	0.9	0.7	0.8

※1 中園橋～ゴルフ橋：環境基準地点、補助地点

※2 差組橋～出会橋：猪名川町の観測地点

4.6 河川の生物

※以下の資料をもとに記載している。

・「淀川水系猪名川 ひょうごの川・自然環境調査業務委託」報告書（平成17年3月、兵庫県阪神北県民局宝塚土木事務所）

河川の自然環境(中流域)

- ・横断工作物はほとんどない。
- ・露岩部が点在する区間であり、露岩による瀬・淵や湛水域などが周辺の天然河岸とあいまって変化に富む環境となっている。
- ・周辺は大規模開発された宅地であるが、竹林等の河畔林が残っている。
- ・メダカが確認されているほか、アカザの生息情報もある。
- ・支川の一庫大路次川には、天然河岸が多く残るが、ダム下流部では、魚類、底生動物の確認種数が少ない。
- ・支川の塩川には、ゲンジボタルが生息している。



メダカ

環境省RL：VU(絶滅危惧Ⅱ類)
兵庫県RDB：要注目種
(最近減少が著しい。優れた自然の指標となる。)



アカザ

環境省RL：VU(絶滅危惧Ⅱ類)
兵庫県RDB：B(絶滅危惧Ⅱ類)
(淵尻から礫の供給を受ける浮石の多い瀬を好む)



エドヒガン

兵庫県RDB：C(準絶滅危惧種)
(川沿いを好むサクラ)



河川の自然環境(上流域)

- 石道～木津付近では、湛水域が広く高い堰(高さ1.5m以上)が9箇所ある。これらの広い湛水域ではオオクチバスの生息が確認されている。
- 支川の野尻川では、天然河岸や瀬・淵が分布し、魚類が最も多く確認されている。
- 木津～笹尾付近は、山付きの蛇行部で、露岩や山付き部の瀬・淵など、環境が変化に富み、魚類、底生動物の生息環境が残っている。
- ・アカザやホンサナエなどの重要種の生息が多い。
- 清水～杉生付近では、石積護岸が概ね整備されている。また、堰も多く設置されている。
- ・上流部山間地で、河床には砂礫が多く、堰周辺の瀬・淵などに重要種や冷水性の底生動物が生息する。
- ・天然河岸部にはキイロヤマトンボが確認されている。
- 上流域では、特別天然記念物のオオサンショウウオが生息している。



ユキヤナギ
近畿RDB：準絶滅危惧種
(川岸の岩場を好む)



フサナキリスゲ
近畿RDB：絶滅危惧種
(山付き区間の複数個所の露岩上に生育)



アカザ
環境省RL：VU(絶滅危惧Ⅱ類)
兵庫RDB：B(絶滅危惧Ⅱ類)
(淵尻から礫の供給を受ける浮石の多い瀬を好む)



キイロヤマトンボ
環境省RL：NT(準絶滅危惧)
兵庫RDB：A(絶滅危惧Ⅱ類)
(淵尻から礫の供給を受ける浮石の多い瀬を好む)



オオクチバス
(外来種)



オオサンショウウオ
環境省RL：VU(絶滅危惧Ⅱ類)
兵庫RDB：B(絶滅危惧Ⅱ類)

河川の自然環境(植物、魚類・底生動物)

植物

確認種 197種

重要種 3種(全体の約2%) (フサナキリスゲ、ユキヤナギ、エドヒガン)

外来種 35種(全体の約18%)

注目すべき外来種 (オオカナダモ、アレチウリ、オオブタクサ、セイタカアワダチソウ)

シダ植物は12種(全体の約6%)
木本類は59種(全体の約30%)
草本類は126種(全体の約64%)
草本類の中ではイネ科(約14%)とキク科(約9%)の占める割合が多い

- ・イネ科:ヨシ、ツルヨシ、ネザサ、ススキなど
- ・キク科:セイタカアワダチソウ、オオブタクサ、ヨモギなど

魚類

総出現種数 27種

重要種 3種(全体の約11%) (アカザ、ドジョウ、メダカ)

外来種 2種(全体の約7%) (オオクチバス、カダヤシ)

回遊魚 3種(全体の約11%) (アユ、ウナギ、トウヨシノボリ)

地点別種数 3~14種

その他の種類(全体の約71%)

コイ、フナ属の一種、オイカワ、カワムツ、ヌマムツ、ヒガイ属の一種、ムギツク、タモロコ、カマツカ、ズナガニゴイ、イトモロコ、コウライモロコ、シマドジョウ、スジシマドジョウ(中型種)、ギギ、アユ、オオクチバス、ドンコ、カワヨシノボリ

底生動物

総出現種(群)数 97種

重要種 4種(全体の約4%) (キイロヤマトンボ、アオサナエ、ホンサナエ、コオイムシ)

汚濁耐性種 6種(群)(全体の約6%) (ヒメモノアラガイ、サカマキガイ、ミミズ綱、イシビル科、ミズムシ、アメリカザリガニ)

冷水性種 5種(群)(全体の約5%) (フタスジモンカゲロウ、ヘビトンボ、ナガレトビケラ科、カワゲラ科、ナベブタムシ)

地点別種数(群) 24~52種

5. 地域の取り組み

